

編集  
発行

金沢市広岡町イ25-10（石川県薬事センター内）  
公益社団法人 石川県薬剤師会 会長 中森 慶滋

2024.1  
No.90

いしかわ

県薬レポート



【「福梅」について】

加賀藩前田家の家紋「剣梅鉢」をかたどった紅白の最中で、縁起の良い銘菓として、金沢のお正月には欠かせない菓子として、古くから伝えられています。最中の中には小豆の粒餡が入っており、最中の表面には砂糖がまぶされており、日持ちをさせるために餡を加えてあるのが特徴です。（出典：石川県菓子工業組合）

# 目 次

◆あらゆる技術は人間の利益に完全に沿うものでなければならない（新年巻頭言）				
	石川県薬剤師会 会 長	中森 慶滋	.....	1
◆令和6年「新年の挨拶」	日本薬剤師会 会 長	山本 信夫	.....	3
◆年頭のご挨拶	参議院議員・薬剤師	本田 顕子	.....	5
◆新年にあたって	参議院議員・薬剤師	神谷 政幸	.....	6
◆受賞おめでとうございます			.....	7
◆学会報告				
●第56回日本薬剤師会学術大会に参加して	しいの木薬局	畑中 悠衣	.....	7
●第56回日本薬剤師会学術大会参加、第56回北陸信越薬剤師学術大会に参加して	石川県薬剤師会 理 事	塩谷 明美	.....	9
●第63回北陸信越薬剤師大会・第56回北陸信越薬剤師学術大会に参加して	高松ハート薬局	高多 三乃	.....	10
●FAPA2023参加報告	石川県薬剤師会 副 会 長	橋本 昌子	.....	12
◆石川県中高生薬剤師セミナー2023				
●石川県中高生薬剤師セミナー2023について	石川県薬剤師会 副 会 長	柏原 宏暢	.....	15
●石川県中高生薬剤師セミナー2023実施報告	松村みらい薬局	大西 洋一	.....	17
●フラワー薬局南ヶ丘病院店での石川県中高生薬剤師セミナーの開催報告	フラワー薬局南ヶ丘病院店	中澤 壮佑	.....	18
●石川県薬剤師の日 ～石川県中高生薬剤師セミナーのサテライト薬局に参加して～	笠原健招堂薬局	笠原 友子	.....	20
◆令和5年度「薬と健康の週間」行事の実施について	石川県健康福祉部薬事衛生課 薬事・麻薬グループ	福井 優子	.....	22
◆2023いしかわ介護フェスタに参加して	石川県薬剤師会 常務理事	松田 泰美	.....	23
◆薬剤師国家試験にチャレンジ	北陸大学薬学部 教 授	野村 政明	.....	25
	教 授	石川 和宏	.....	25
◆委員会だより				
●令和5年度 災害薬事コーディネーター養成研修会報告	薬剤師災害支援活動事業委員会	竹端 裕	.....	30
●2023年度第Ⅲ期北陸大学薬局実務実習学生発表会を開催して	実務実習委員会	中谷 浩子	.....	31
●令和4年度 県民啓発講座のアンケート結果	県民啓発講座実行委員会	石浦祐喜子	.....	32
◆支部だより				
●白山市福祉健康まつりへの参加を通して	白山ののいち支部 青い森薬局倉光店	松本 暁人	.....	34
●令和5年度(第64回)石川県防災総合訓練及び緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練を終えて	能登北部支部 宇出津らいふ薬局	横川 聖	.....	36
◆北陸大学元学長「越浦先生を偲ぶ会」を開催して	石川県薬剤師会 常務理事	村田世里子	.....	38
		(北陸大学二期卒)		
◆石川県薬剤師会への特殊詐欺被害防止のための協力依頼について ～薬局利用者へのチラシ配布による注意喚起～	石川県薬剤師会 副 会 長	藤原 秀範	.....	39
◆第37回(令和5年度)北國がん基金啓発活動部門採択 「医療者によるがん緩和医療に関わる薬剤師の支援」オンライン講演会の紹介	金沢大学附属病院 薬剤部 副薬剤 部 長	坪内 清貴	.....	42
	(同) 緩和ケアセンター長	山田 圭輔	.....	42
◆地域の子どもたちに、薬(薬局)について学んでもらった!	むさしまち薬局	西田 裕子	.....	45
◆ガ ザ		なかもりけいじ	.....	47
◆カタリン・カリコ氏		やまだのかかし	.....	50
◆僕を破壊した美しい海側環状道路のコース	石川県薬剤師会 会 長	中森 慶滋	.....	51
◆連盟だより				
●学んだことを地域に	参議院議員・薬剤師	本田 顕子	.....	55
●自由民主党青年局海外研修(台湾・パラオ)	参議院議員・薬剤師	神谷 政幸	.....	56
●2024年も皆様の声を市政に届けて参ります	金沢市議会議員・薬剤師	宇冢 裕基	.....	57
●「全国若手薬剤師フォーラム2023」に参加して	しんたて薬局	北 一晃	.....	58



## 新年巻頭言

# あらゆる技術は人間の利益に 完全に沿うものでなければならない

公益社団法人 石川県薬剤師会  
会 長 中 森 慶 滋

石川県薬剤師会の皆様新年あけましておめでとうございます。

さまざまな課題が山積している中で石川県薬剤師会は各役員が最大限努力を行い薬剤師の業務をより良いものにしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

日経新聞にマイケル・サンデル氏の記事が載っていました。そこには「技術の未来」の話をしてしよう。という表題で、人工知能やバイオテクノロジーが発展を遂げている中で技術が人知を超えて進化する「テクノ新世」の時代をどう生き抜いていくべきかについて書かれていました。

記事の要点を抜き出してみます。

○真の問題は「計算能力」や「予測する力」といった知性でAIが人間を超えるかどうかではない。AIによって、私たちが現実と仮想の区別を失うかどうかだ。

○ポールマッカートニー氏がAIを使って古いデモテープからジョン・レノン氏の声を抽出し、ビートルズの新曲を完成させた。AIが発達すれば、彼らが作曲してさえいない「ビートルズの新曲」を彼らの声やスタイルでつくることができるだろう。本物と見分けがつかないとしたら、あなたはどう感じるだろうか。

○もし他の選手が遺伝子工学を利用して、大谷と同じくらい素晴らしい投打二刀流の選手になったらどうだろう。きっと私たちは天性の才能努力のたまものである大谷と同じようには、この選手を称賛することはできない。

○遺伝子操作で子供の知能指数（IQ）を高めようとすれば子供に対する無条件の愛情を損なう危険がある

「技術の未来」の話をしてしよう

6月30日 日本経済新聞



7月14日にはドイツの哲学者マルクス・ガブリエル氏が「AIは異星人の知性」としそこには「人間的な科学」が必要としていると書いた記事を読みました。その要点としてAIの脅威は悪用であり、そのことで人間の悪が増強され、独裁や犯罪などに使われてはならないと警告を発し次のように書いています。

○あらゆる技術は人間の利益に完全に沿う

ものでなければならない。

○ニヒリズムは「人間が存在することに意味はない」という。だが、私たちが生まれてきたことに意味があろうがなかろうが、神が存在しようがしまいが、我々は道徳的真実を見つけ出し、それを実践しなければならない。我々には未来を守る義務がある。それが「人生の意味とは何か」という問いへの私の答えだ。

と締めくくっています。



これらの視点から私たち薬剤師の未来はどのようなのだろうか、また薬剤師のレゾナードールつまり存在意義とは何か考えたいと思います。

今年の11月2～4日に北陸信越学術大会を開催します。

テーマを「Think Quality」として、薬剤師が果たす患者さんのクオリティーの向上を目的とする内容といたしました。

**大会長**：公益社団法人石川県薬剤師会  
会長 中森 慶滋

**大会責任者**：金沢大学附属病院薬剤部  
教授 崔 吉道

**大会監修**：東京理科大学薬学部  
嘱託教授 上村 直樹

北陸信越学術大会のホームページ

<http://ishikawakenyaku.com/taikai/index.html>

## 特別講演

○「Positiveに生きる」

16歳で両足を切断する事故にあうも、人生をポジティブに生きモデルとして活躍されている葦原海さんの講演



シンポジウムとして、

○生成AIが変える薬剤師の未来

○薬剤師の偏在問題を考える

○死をPositiveに考える



また、特別企画として、

○Zoom World Session

を企画いたしました。このセッションは世界中でご活躍されている、もしくはご活躍経験のある日本人の薬剤師、日本語を話せる日本に留学している外国人留学生にご参加いただき、薬剤師の現状とこれからの未来をオンライン（Zoom）で各国から同時刻に入っていただき、討論しようというものです。

石川県薬剤師会では、2018年に日本薬剤師会学術大会を「人として、薬剤師とし

て。」をテーマとして開催し、地方開催としてはこれまで最高の参加者を集めるとともに参加者からは高い評価を得ました。また、業界マスコミ各社からも石川県薬剤師会が企画したテーマとの内容また運営コンテンツにつきまして絶大なる評価をいただきました。

今回の企画を業界マスコミ各社に打診いたしたところ、ぜひとも記者会見を行ってほしいと要望が出されました。そのため、広く全国から参加を促すことを目的として、業界マスコミに広く告知する記者会見を来年5月ごろ行う予定であります。

先生方、本年もどうぞよろしくお願いたします。

**Think QUALITY**  
**薬剤師学術大会**  
**金沢**  
 2024年(令和6年)  
**11/2日** ▶▶ **4月開催**  
 石川県文教会館、金沢商工会議所会館  
 中森 慶滋 (公益社団法人 石川県薬剤師会 会長)

**生きてきてよかった**  
**病気・長寿・ターミナルの**  
**クオリティを考える**

■ 特別講演  
 「POSITIVEに生きる」  
 講演 海老  
 (モダン/パフォーマー)  
 10 歳前病に、笑顔で迎えるために、  
 講演者から、大切なメッセージを届ける

■ Zoom World Session  
 世界を舞台にした  
 ・世界の未来  
 ・世界の光景 (1)

■ 生成 AI が変える薬剤師の未来  
 講演 上村 俊典 (東京理科大学 薬学部)  
 データの収集、分析、そして薬を処方する  
 従来の薬剤師の業務はどのように変化し、  
 どのような業務を自動化していくのか、生成 AI  
 が持つ可能性の活用をテーマに、最新の事例  
 について、最新の事例を交えて、今後の展望  
 についてお話しします。

■ 薬剤師の存在価値を考える  
 地域医療の QUALITY を維持するために  
 講演 岸 志郎 (石川県薬剤師会 副会長)

■ 死を POSITIVE に考える  
 講演 山田 洋輔 (北沢大学附属病院緩和ケアセンター)

第 64 回北陸越後薬剤師大会・第 57 回北陸越後薬剤師学術大会  
 大会事務局 / 公益社団法人 石川県薬剤師会 〒920-0012 石川県金沢市西片岡 10-1 TEL 076-231-0034 メールアドレス: kenhaku@jkaak-mcc.jp



## 令和 6 年「新年の挨拶」

公益社団法人 日本薬剤師会

会長 山本 信夫

新年明けましておめでとうございます。石川県薬剤師会会員の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より本会の進める諸事業に格別のご理解とご支援を賜っておりますことに、心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の感染症法上の類型の変更により、多くの社会活動が再開されました。しかし、感染症を完全に制御できたわけではありませ

ん。これからは、国民一人一人が健康状態を自ら確認することが不可欠で、地域住民のセルフケア/セルフメディケーションへの積極的な支援は、これまで以上に地域の薬剤師・薬局の重要な役割となっております。

一方、国を挙げて医療DXが進められており、薬局・薬剤師にはオンライン資格確認や電子処方箋への対応等が求められています。皆様には何かとご負担をお掛けしておりますが、薬剤師資格証の取得などに引

き続きご協力をお願いいたします。

また、令和6年度は、医療・介護報酬に加えて障害福祉サービス等報酬を含むトリプル改定が予定されています。公定価格で運用されている医療保険では、昨今の物価高騰・賃金上昇に対応できず、加えて6年連続の薬価改定の甚大な影響と相まって、保険薬局は厳しい経営状況が続いています。日本薬剤師会では改定財源の確保と同時に、医科・調剤の公平な配分を維持するため、関係各方面へ働きかけを進めるとともに、長引く医薬品の供給不足に対しても、厚生労働省と連携し、問題の解決に向け引き続き積極的に関わっていく所存です。

さらに、本年度は各都道府県で第8次医療計画がスタートします。5疾病と新たに加わった新興感染症を含む6事業、並びに在宅医療の全てに薬剤師・薬局の役割が明記され、地域への医薬品の供給はすべからず薬剤師が担うことが期待されています。これまで大きな課題とされてきた薬剤師の確保についても、各都道府県で取組みが進められるものと思います。

そして、規制改革推進会議は「対人業務の充実」、「持続可能な在宅医療提供体制」、「デジタル技術の有用性を踏まえた医薬品販売」といった美辞麗句を並べ、「調剤業務の外部委託」、「訪問看護ステーションへの薬剤配置」、「コンビニでの医薬品販売」など、薬剤師業務を根底から揺るがす理不尽な要求を繰り返し主張しています。こうした動きに対しては、会員の皆様のご理解とご協力を得ながら、薬剤師職能の存在意義を踏まえて反対してまいります。

国が目標に掲げる「地域包括ケアシステム」の構築時期まで1年あまりとなりました。超高齢社会が本格化する2025年を目前にして、如何に地域社会と共生していくかがこれからの薬局・薬剤師にとって重要な課題と考えています。日本薬剤師会では、地域への医薬品提供を担う薬剤師・薬局がその責任・役割を果たせる環境づくりに向けて、覚悟と矜持を持って会務を進める所存です。

結びにあたり、石川県薬剤師会会員の皆様方にとって実り多い一年となりますよう祈念し、新年の挨拶といたします。





## 年頭のご挨拶

参議院議員・薬剤師 本 田 顕 子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、穏やかに新たな年を迎えられたことと存じます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止と必要な医療提供体制の確保が求められる「特別な期間」を乗り越えた年となりました。社会全体が公衆衛生の大切さを理解し協力しあい、医療を現場で支える会員の皆様が感染防止に注意を払いつつ新型コロナ対策の徹底にご尽力され、地域の皆様の命と暮らしを守ってこられましたことに敬意と感謝を申し上げます。

4月から第8次医療計画がスタートします。

地域医療を支える薬剤師が5疾病6事業および在宅医療において、専門性を生かし職能を遺憾なく発揮する大きなチャンスです。今般の第8次では、人口減少・高齢化が進展していることを念頭に置きつつ、医療ニーズの質・量の変化に対応した必要な医療提供体制を維持する観点で、いかに医療人材を確保できるかが重要になってまいります。人材の確保・養成は一日にして成るものではありませんので、関係団体が一体となって各自治体の薬務主管課と医務主管課と継続的に協働を続け、地域医療を支える薬剤師の確保につなげてまいりましょう。

また、医療DXの推進も求められております。昨年成立した令和5年度補正予算などを活用しつつ、電子処方箋の機能拡充と活用が進展することを願っております。

医薬品の供給不足に関しまして会員の皆様にご負担とご心配をおかけしているところです。令和5年度補正予算において医療上必要性の高い医薬品の増産支援などが行われ、年末にとりまとめられた薬価改定の骨子においても不採算品目への一定の対応がなされましたが、産業構造上の対応策を含め供給安定化に向けて引き続き力を尽くしてまいります。

昨年10月から文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官を拝命し、「科学技術・学術」と「文化」を担当しております。文部科学行政は薬学とも関係が深い分野ですので、アカデミアや研究機関などによる基礎研究を後押しし、創薬やイノベーションの推進にも励んでまいります。そして、これまで私が注力してきた薬剤師や薬業などに関する課題と信念に基づく政治活動についても変わらず続け、薬剤師の皆様が夢や希望を持ち、それらを実現できる社会づくりにつなげてまいります。

本年も変わらぬご指導をよろしくお願い申し上げます。

会員の皆様にとりまして本年が実り多き

一年となりますことをお祈り申し上げ、年頭の挨拶といたします。

それぞれの 人等に会って 聞く力

為すべき課題 我が国家論

(2022年 詠み人 本田顕子)



## 新年にあたって

参議院議員・薬剤師 神谷政幸

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お健やかに輝かしい新年を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より温かいご支援を賜っておりますこと、この場をお借りいたしまして、深く御礼を申し上げます。

昨年の通常国会の厚生労働委員会において、医薬品の安定供給問題について関係者の疲弊はピークに達しており、一刻も早い状況の改善が必要であることを質疑の中で訴えました。その後、状況がさらに悪化したことを受け、国会終了後も自民党本部における部会や議連等を通して、また関係省庁等に対し、現場の状況を伝えると共に、問題解決のための対策を取るよう訴え続けました。秋の臨時国会の厚生労働委員会でも医薬品供給問題について言及し、政府に対してしっかりとした支援をお願いすると共に、想定される今後の状況に対して、後手に回らないよう要請しました。新しい年を迎えましても、医薬品の安定供給等様々な問題に対して、引き続きしっかりと対応

して参る所存です。

今後、電子処方箋の本格運用によって薬の重複チェックが可能となり、マイナポータルから収集される薬剤情報や特定健診情報等、ネットワークを通じた様々な情報は拡大すると思われます。薬剤師による細やかな患者情報の収集と、患者さんに寄り添った服薬指導にデジタル情報が加わり、薬物療法の質はさらに向上し、その先には、共に標準化された電子カルテと調剤録の共有や、電子化されたトレーシングレポートの活用による、副作用対策や医療の適正化が期待されます。

本年も薬剤師の未来に向けて、しっかりと仕事をして参る所存です。引き続きご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

日本薬剤師連盟の先生方の益々のご活躍と、会員の皆様にとって本年が素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

## 受賞おめでとうございます

### ◇ 令和5年度薬事功労者

#### ○ 県知事表彰（薬事功労）

西上 潤 先生

### ◇ 令和5年度学校保健に関する表彰

#### ○ 文部科学大臣表彰（学校保健功労）

高田 泉 先生

池田 登喜雄 先生

#### ○ 石川県学校保健会功労者表彰

（石川県学校保健会）

久保 里美 先生

島 節子 先生

新藤 正人 先生

浅井 栄子 先生

笠原 友子 先生

### ◇ 令和5年度薬物乱用防止功労者

#### ○ 厚生労働省医薬・生活衛生局長感謝状

東田 晃 先生

長基 明子 先生

#### ○ 石川県知事感謝状

澤野 和彦 先生

### ◇ 日本薬剤師会 有功賞

石倉 衛 先生

民山 友子 先生

### ◇ 北陸信越薬剤師会賞

高山 成明 先生

瀬川 孝司 先生

先生方のご栄誉をたたえ、今後ますますのご活躍をお祈りいたします。

## 学会報告

### 第56回日本薬剤師会学術大会に参加して

しいの木薬局 畑中 悠衣

2023年9月17日、18日に第56回日本薬剤師会学術大会が和歌山県で開催されました。今回のメインテーマは「和の心～未来へ～」でした。現地及びWEBを併用したハイブリッド形式で開催され、私は現地で参加し、ポスター発表を行いました。WEBでの参加は以前経験していましたが、現地での参加は初めてでした。

今回は会場が和歌山県民文化会館、和歌



山城ホール、和歌山県立医科大学薬学部キャンパス、ダイワロイネットホテル和歌山、ホテルアバローム紀の国と5つに分かれていました。私はポスターを貼るために和歌山県立医科大学薬学部に向かいました。到着すると和歌山城が目に入り、初めて見る事ができました。

その後、口頭発表とスポンサーセミナーを聞きに行きました。スポンサーセミナーは辻中病院柏の葉漢方未病治療センター長の喜多先生の講演で、テーマは「未病に対する漢方治療 - 柴胡剤を中心に -」でした。多くの人が興味をもっていただいていたようで席はほぼ満席でした。自覚症状に隠れている不健康状態が未病であり、未病を治せば病気も治せる、その未病を治すことができるのが漢方薬であるというお話でした。それぞれの漢方薬の使い分けが難しく、気虚や気鬱、気逆などの説明がありましたがその事について深く理解していないと使い分けの判断は難しいと思いました。漢方薬に対しての知識が少なかったのでとても勉強になるお話でした。

私は16:30~の1時間半がポスター発表でした。会場に行くと私が思っていたよりも多くの人が会場に集まっていた。私の発表の演題名は「血液透析患者の服用状況と食事が影響する薬剤の理解度の再確認」でした。質問をしていただいた方は10人程、ポスターを見るのに立ち止まっていた方も含めると多くの方にポスターを見ていただく事ができました。ご質問以外にも他の薬局の方のお話をお聞きしたり、ご指摘を頂いたり、とても勉強になり有意義な時間となりました。他の方のポスター発表で制限の多い透析患者さんの嗜好に沿った食品を提案した事例を発表して

いる方がいました。今回の調査の際にリンを多く含む食品については透析患者さんにお伝えしましたが、その方はリンを多く含む食品の中でもリンが少なく含有されているものの具体例を調べてお伝えしていました。摂取する事がダメだと伝えるだけではなく、摂取したい場合はどうしたら良いかまで、私も今後は患者さんに寄り添えると良いと思いました。

2日目はまず機器の展示会場に行きました。新しい機器は今まで資料などを見る事はできても実際見る事はなかなかできなかったもので、実際見てメーカーさんに質問などをする事が出来て良かったです。現地参加だからこそできる事だと思いました。その後は分科会「女性のライフサイクルと特有の疾患について」を聞きに行きました。それぞれの病気になる割合や治療薬の効果、糖尿病の方の低血糖になる割合にも性差があり、驚きました。

初めての現地参加、ポスター発表でとても緊張しましたが無事に終わる事ができ、とても安心しました。今回学んだ事を普段の業務に活かせるように、学んだ事を日々の勉強でブラッシュアップしていきたいです。



## 第56回日本薬剤師会学術大会参加、 第56回北陸信越薬剤師学術大会に参加して

石川県薬剤師会 理事 塩谷 明 美

### 日本薬剤師会学術大会参加



2023年9月17日～18日 和歌山県和歌山市で開催された学術大会に参加しました。今年は現地に赴きました。準備段階で多少手こずりましたが、なんとか和歌山市に到着し、ライトアップされた和歌山城をみながら翌日から開催される学術大会に備えました。

開催初日は快晴！で、若干汗ばむ陽気。沢山の来場者が集い、盛大に開会式が催されました。開会式が終わり、特別講演、ブースでの機器紹介など熱気がこもっていました。和歌山での開催は石川県開催時のように幾つかの建物に分かれており、入念

な事前予定計画が必要でしたが、晴れ晴れとした天候だったのでそれも苦になりませんでした。

興味を持ったのは、やはり医療計画、医療DX、世界で活躍する薬剤師等で、講演内容はとても充実したものでした。

二日間の開催はあっという間でしたが、今回の学術大会も参加できて、本当に勉強になりました。来年は埼玉県です。新幹線で向かえますので、現地にて参加しようと思っています。

### 北陸信越薬剤師学術大会参加



2023年10月8日～9日 新潟県新潟市にて開催されました。新潟は肌寒く、曇り雨の天候でした。北陸人としては、慣習と

なっている天候です。

今回、新潟県薬剤師会荻野会長が主となり開催された会場は朱鷺メッセです。海岸ベリにある高層ビルの中での開催でした。今回も会場が埋まる参加者でした。

初日の若手薬剤師によるメインセッションがとにかく興味深い内容でした。皆さん、それぞれの個性を発揮されており、各県での取り組み等を報告され、その後の

セッションは熱い熱い討論で、ほぼ全ての聴衆者が心を引き込まれていたのではないかと感じました。

二日目は口頭発表でした。口頭発表に参加して良かったことは、いろいろな方々と繋がれたことです。学会に赴かないとできない事があると再度実感した次第です。

佐渡島は見られませんでした。いつか訪問できればと思っています。

## 令和5年 第63回北陸信越薬剤師大会・ 第56回北陸信越薬剤師学術大会に参加して

高松ハート薬局 高 多 三 乃

令和5年10月8日(日)、9日(月・祝)、新潟県 朱鷺メッセにて、第63回北陸信越薬剤師大会・第56回北陸信越薬剤師学術大会が開催されました。

今回のテーマは「もう一度見つめよう！真の薬剤師像」。平成27年に「患者のための薬局ビジョン」、令和2年に「薬機法」の改正もあり、現在も確実に薬剤師の歴史は動いています。そんな中、国民から薬剤師は何を求められているのか、どう応えるべきなのか、今一度原点に振り返り見つめなおす良い機会となりました。

1日目、シンポジウムに参加。福井県のオバマ薬局様からは、薬剤師として、常に最新の情報を把握し、自信の専門性の向上を図るだけではなく、地域の状況把握や患者の日常生活やその背景について理解しそれに基づいたアドバイスや支援を提供することの重要性を、富山県のあねくら薬局様からは、地域における薬局の存在意義を見つめなおし、薬剤師として何を地域に提供できるのか、何を未来に残せるのか、実際

されている活動事例を通じ、ご発表いただきました。

また、長野県のふれあい土屋薬局様からは患者の状況が見える充実した薬歴の記載方法、新潟県のみなと薬局様からは良い薬剤師、真の薬剤師になるための3つの能力「柔軟な考えを持つこと」、「多彩な表現ができること」、「行動力があること」についてお話しいただきました。

石川県からは、金沢市議会議員の宇冢裕



基先生が「薬剤師議員として地域医療に貢献する選択」という演題で地域包括ケアシステムや在宅医療など、地域医療が変革期を迎えている時代に、行政の仕組みが合致しているのか、どう働きかけるべきかについてお伝えいただき、薬剤師としての地域医療へ貢献していくための考え方、働き方、目指す方法を改めて見直すことができましたとともに、同じ石川県の薬剤師として、宇多先生のご発表をととても誇らしく思いながら視聴させていただきました。

大会2日目、私は在宅医療・介護、チーム医療、無菌調剤についての演題発表をされる会場を選択し参加しました。

初めに厚生労働省医薬局医薬品審査管理課の松下先生より「薬剤師が果たしていくべき役割と今後の地域医療の展開」についてお話がありました。全国での外来患者数は2025年にピークを迎えることが見込まれている一方で、在宅患者数は2040年以降にピークを迎えることが予想され、在宅医療の需要は引き続き増加し、今後薬剤師は外来患者の処方箋需要だけでなく、益々在宅医療への積極的な参加が重要となると考えられます。薬剤師の関与により薬物有害事象への対処や服薬状況の改善が見込まれるため、薬剤師が在宅医療で果たす役割は大きく、医療機関と連携して行われる研修やカンファレンスなどへの参加を通じて、在宅医療の質の向上を果たしていくことがとても重要性であることを改めて痛感しました。

演題発表では在宅終末期患者に会した事例、無菌調剤室共同指導に向けての取り組み、新規ディスプレイPCAポンプを提案した在宅がん終末期患者への症例、在宅医療による終末期患者への薬剤師として



のかかわり方、医療介護連携コミュニケーションツールの活用について、チーム医療の連携の仕方、在宅緩和ケアでのPCAポンプ管理の有用性などについて学び、終末期患者に薬剤師がかかわる意味や課題について改めて考えさせられました。

発表者の中に、実習生の時に自分がかかわらせていただいた方のご発表もあり、時の流れの速さを痛感するとともに、彼の成長を心から嬉しく思いました。

また1日目は14時からの開催であったため、午前中に弥彦山まで足をのばし、佐渡島を展望するとともに、新潟のへぎそばと白米をいただき、こしのある食感と美味しさに舌鼓を打ちました。こうしてとても有意義な2日間を過ごすことができ、心も体もリフレッシュして帰路につきました。

来年11月2日(土)～11月4日(月・振休)は金沢での開催になります。

テーマは「Think QUALITY 病気・長

寿・ターミナルのクオリティを考える」です。

現在高松ハート薬局では高齢者や地域に根付いた薬局を目指すため、薬局独自の活動を進めています。来年はこの舞台上で活動内容を報告できるよう、スタッフ一同日々

努めております。

来年度、金沢大会へ参加された北陸信越ブロック5県の薬剤師の先生方に、「金沢へ参加してよかった」と心から感動していただけるよう、皆さん、と一緒に頑張りましょう！

## FAPA2023参加報告

石川県薬剤師会 副会長 橋本昌子

第29回アジア薬剤師会連合学術大会 (Federation of Asian Pharmaceutical Associations Congress & National Pharmacists Convention; FAPA2023) が2023年10月24日(火)～28日(土)台北(台湾)で開催されました。メインテーマは、「医療制度の回復力、安全性、資本：薬剤師が支援可能」。

FAPAは、西太平洋、東南アジア、東地中海地域の24か国の薬剤師の組織で、グ



台北101

ローバルな健康課題に対応するためのプログラムを実施している組織です。

会場は、台北101(101階建ての超高層ビル)に隣接する国際コンベンション



会場エントランス

センターです。

台北101には、ショッピングモールやフードコートがあり、台湾グルメも楽しみました。

台湾の薬剤師会のはからいで、現地に行く前から、日本人向けのライングループに参加できて、観光やグルメスポットやお土産について知ることができました。台湾のみなさんのおもてなしですね。

開会セレモニーでは、各国の国旗とともに代表者が前に立ち、紹介され、日本からは、広島の豊見先生が和装で参列されて



開会式

蔡・英文総統



太鼓演奏

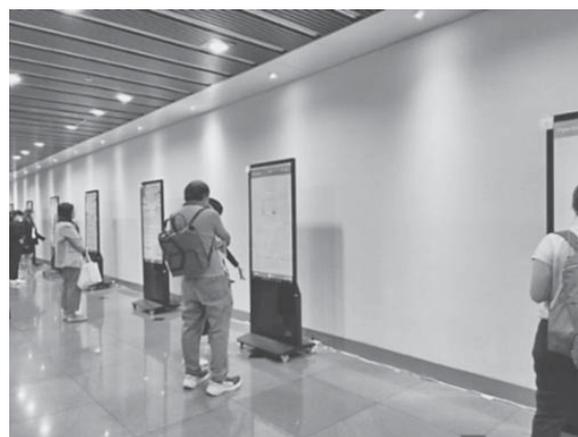
いました。やはりこのような場所では和装が映えます。勇壮な太鼓の演奏があり、台湾の蔡・英文総統がご挨拶され、活気あふれる開会式となりました。

シンポジウムでは、アジアの各国の事情を説明するセッションがあり、DXやコロナ対応などの発表があり、日本からは、健康サポートについて発表されていました。DXについては、アジアの取り組みが参考になります。

私はポスター発表をしたのですが、e-ポスターなので、データでポスターを登録してくださいと言われ、いったいどのようになっているのだろう？とわからないことばかりでした。とにかく、ポスターをプリントして持参する必要がないことだけはわ



ポスター発表



ポスター会場

## アジア各国の取り組み



シンポジウム

かりましたが、行ってみてびっくり!! 写真のように、1階と2階にデジタルサイネージが並んでいて、自分のポスターを呼びだして説明します。他の人のポスターもこのように呼び出ししないと見れないので、なかなかハードルが高かったです。

このポスター発表は、優秀賞にノミネートされた人だけが、審査の時間に示説することになっており、選考にもれた私は、説明する必要がなく、ほっとすると同時に残念な気持ちになりました。出会った友人と説明しあい、それはそれで良い経験となりました。

来年は韓国で開催されますので、韓国のみなさんととても盛り上がっていました。写真はコリアンナイトに参加した時の様子です。BTS（韓国のダンスグループ）のファンだと言ったら、とても喜んでくれました。

「閉会式とクロージングディナーは、絶対に出るべきよ。これに出ないと来た意味がない。」と友人からいわれ参加しました。それぞれの国のパフォーマンスは、本当に楽しくアジアの国々からのエネルギーをいただきました!! 日本からも次回は何かしようねと参加者のみなさんと誓い合い、会場を後にしました。



コリアンナイト

海外の学会に参加することは、価値観が変わり、視野がひろがり、経験値が高くなります。来年の韓国での開催は、ぜひ一緒にいきましょう。



クロージングディナー

## 石川県中高生薬剤師セミナー2023

### 石川県中高生薬剤師セミナー2023について

石川県薬剤師会 副会長 柏原宏暢

薬剤師のことを知ってもらうために中高生を対象としたセミナーが令和5年8月6日(日)午後1時から石川県地場産業振興センターの新館ホールにおいて開催されました。ここ3年ほどは新型コロナの感染拡大防止の観点から規模を縮小して、WEBを主体に開催しておりました。しかし、新型コロナが2類から5類になったことから、従来通り広い会場を使用して参加を呼びかけましたところ、中学生12名、高校生36名、その保護者24名の合計72名の参加を得て開催されました。また、サテライト薬

局の4会場にも5名の中学生、8名の高校生、保護者3名の合計16名が、WEBで繋がって参加しました。今年度はさらに、オンライン聴講を急遽準備して、Zoomでの参加も当日可能であることを北國新聞のテレビ欄に広告を打ったところ、23名の参加があり、会場と同じ講演を聞くことができました。

開会に当たり、中森会長は挨拶の中で、本日8月6日は広島に原爆が投下された日で、大江健三郎氏の本に、がれきだらけの街で医療関係者が何も無いにもかかわらず





ず、被爆者に対してやけどの手当てに当たる話を紹介され、どんな環境においても医療に携わる人々の矜持や理念を紹介しました。また、IT化が進んでいる今日においても、医薬品に関わる薬剤師の果たす役割が大きいことを今日のセミナーで学んでほしい旨を話されました。

続いて、講演に入り、橋本副会長から薬剤師が社会のどのような分野で活躍しているかについてお話ししていただきました。なお、橋本副会長は、フィリピンに滞在中でしたが、Zoomで何の問題もなく講演が進行しました。2番目は、金沢大学薬学類6年生の竹中リナさんが大学の薬学部の授業でどのようなことを学ぶかを中心に話されました。3番目は、北陸大学薬学部4年生の小藤さくらさんが高校時代にどのような勉強をして大学受験に備えたか、また大学での基礎学習について話されました。4番目は、若葉らいふ薬局の草場大作さんが街の薬局が調剤だけではなく、在宅医療にも取り組んでいることなどを話されました。5番目は、金沢大学附属病院の二木悠哉さんが入院患者の服薬指導だけではなく、抗がん剤の調製など外来化学療法への関与など病院での業務などについて話されました。6番目は、石川県庁の薬事衛生課の新田菜々香さんが公務員薬剤師の働き先や行政薬剤師の業務内容などについて話さ

れました。7番目は、自衛隊呉病院の大久保裕真さんが自衛隊における薬剤師の立ち位置や働き先などをZoomで話されました。8番目は、参天製薬の長谷川佑輔さんが製薬会社における薬剤師の勤務場所や工場における品質管理等について話されました。

9人の講演の後は、個別相談会が開催されました。個別相談のブースは、薬局、病院、行政、自衛隊、金沢大学、北陸大学、輪島病院、参天製薬の8か所が設けられ、大学等の人気のブースは、複数箇所に対応していました。また、サテライト薬局でも、自動調剤ロボット体験、調剤機器の使用（錠剤分包、散剤分包、薬袋作成等）、実験お薬教室、ハンドクリーム作り、進学相談などが実施されました。

以上で、セミナーは終了しました。このセミナーを支えるスタッフは、会場で約50名、サテライトに約10名の総勢60名に

薬学啓発事業

## 石川県中高生 薬剤師セミナー-2023

参加無料

**「薬剤師」に興味がある中高生あつまれ!**  
「薬剤師になるにはどうしたらいいの?」「大学ではどんなことを勉強するの?」「薬剤師になったらどんな仕事があるの?」といった、いろんな疑問にお答えします。  
 全体講演会のほか、病院・薬局・地元大学などによる個別相談会も開催!

**令和5年 8月6日(日)**  
13:00-15:30(開場12:30)

参加会場は3種類から選べます!

<b>メイン会場</b>	石川県地産産振興センター 新館1階コンベンションホール (金沢市鞍月2丁目1番地)
<b>サテライト会場</b>	各地域の薬局・病院
<b>オンライン会場</b>	ZOOMミーティングルーム (全体講演会のみ視聴)

主催：(公社)石川県薬剤師会 共催：金沢大学薬学薬保健学薬学薬学薬学、北陸大学  
 後援：石川県、石川県病院薬剤師会、金沢市教育委員会  
※本セミナーは石川県主催の啓発事業です。

公益社団法人 石川県薬剤師会 <http://shikawakenyaku.com>  
 TEL:076-231-6634 当日連絡先:080-9528-6889

及び、石川県薬剤師会の幅広い職域（薬局、病院、行政、大学、メーカー等）の会員に支えられて、運営されています。朝、9時半に集合して準備し、リハーサル、ミーティング、誘導、進行、対応、そして後片付けをして、会場を撤収したのは午後

4時を回っておりました。県薬剤師会では、このイベントを継続していくことにより、中高生だけではなく、その保護者をとおして広く社会に、薬剤師の仕事について理解を深めていただくきっかけになればと願っています。



## 石川県中高生薬剤師セミナー2023実施報告

松村みらい薬局 大西 洋一

薬剤師の仕事に興味を持ち今後薬剤師を目指す契機の一環として今回中高生セミナーが実施されました。今回松村みらい薬局は一組の親子の応募がありサテライト薬局とし薬局内にて実施しました。昨年度も実は予定しておりましたが応募が無く不参加でした。

令和5年8月6日13時40分過ぎ中学一年生の親子が来局しました。先ず自己紹介から始まり、今までの私の人生について紹介させて頂きました。参加者はまだ薬剤師を目指すことには至っていないが、母親の推薦と調剤薬局の薬剤師の仕事の内容に興味を示したようでした。また、事前質問回答集にも目を通してもらい具体的に疑問があれば回答しました。先ず薬科大学に入学する為ある程度の成績が必要でとにかく努力する事が重要と訴えました。いつか努力は報われる点を強く伝えました。また私自

信はMR出身でありMRとしての仕事内容、その時の営業の大変さ、退職後の調剤薬局の薬剤師としての修行について、つつい熱く語ってしまいました。薬学教育は現在6年制となり、より実践的な教育になっている点など紹介しました。その後タブレットを用い講演を親子で見て頂きました。時折解説をいれわかりやすく紹介しました。結構熱心で気になるところはノートでメモしておりました。

セミナープログラム終了後は14時30分過ぎ当薬局での業務一般を紹介、調剤室に入って頂き薬剤の大まかな分類、採用薬剤品目の多さにはびっくりしていた様子でした。分包機などの機器の説明、処方箋の見方、受け取ってからの流れ、疑義紹介、ピッキングについては調剤監査システムを用いその方法について興味を持っていたようです。散剤の調剤では分包機に期限切れ

の乳糖を用いてヘラを使って均等にする難しさを体験してもらいました。調剤薬局での仕事の実態などわかっていただけたと思います。

参加者は中学1年生のため具体的な薬剤師に対する思いなどはあまりなく調剤薬局の薬剤師の仕事ぶりに興味があったようです。このセミナーは毎年実施していることと告げ、今後高校進学後、高校2年生頃興

味がまだあればまた参加したいとのことでした。

以上サテライト薬局としてセミナーを実施した今回、母親は薬剤師に興味を持ってくれる事が今回の大きな目的で一応達成は出来たかも？と参加親子が喜んで帰って頂いたことが何よりでした。来年も参加希望者があれば更により良いセミナーを実施したいと思います。

## フラワー薬局南ヶ丘病院店での 石川県中高生薬剤師セミナーの開催報告

フラワー薬局南ヶ丘病院店 中澤 壮 佑

2023年8月6日に石川県中高生薬剤師セミナーが開催されました。当薬局もサテライト薬局の1つとして参加させていただいたので、報告させていただきます。

まず初めに、開催当日までの準備についてです。当薬局がサテライト薬局としてセミナーに参加するのは、2022年に引き続いて2回目でした。1回目のセミナーでは、近隣の高等学校の進路指導課の担当者に連絡を取り、セミナーの案内を学校内に掲示していただいたことにより、多くの学生さんに参加していただきました。今回も同様に、セミナーについて案内させていただきましたが、その学校からの参加者は0名でした。進路指導課の担当者も、「今年の学生は、薬学や看護学などに関わらず、こういった機会に消極的なんです。今までこのような年はありません。」と仰っていました。次回のセミナーでは、連絡を取る学校の範囲を広げて、参加者を募りたいと思います。

次に、セミナー当日についてです。当日

は、中学生4名、高校生2名、保護者1名の計7名に参加していただくことができました。当薬局はメインセミナーから参加し、万全の感染対策のもと、モニターで参加者の皆様と一緒に視聴しました。どの講演も充実した内容で、参加した中高生の皆さんは、様々な薬剤師としての働き方に興味を示していました。

フリーセミナーでは、ハンドクリーム調剤体験、自動調剤ロボットの操作体験、薬



剤師業務体験を実施しました。中高生にとって貴重な夏休みの1日を使ってまで参加していただくには、「楽しそう。面白そう。気になる。」と思ってもらえるような体験が必要と考え、この3つの内容を実施しました。

1つ目のハンドクリーム調剤体験では、好きなアロマオイルを効能、香りから選んでもらい、プロペトを基剤としてハンドクリームを作ってもらいました。軟膏板と軟膏へらを実際に使って、軟膏の計量・混合・充填を体験してもらいました。



2つ目の自動調剤ロボットの操作体験では、自動薬剤ピッキング装置“Drug Station”を実際に操作してもらいました。まずは、検索した薬剤が払い出される、個別払い出しモードを体験してもらいました。次に、模擬処方を使って、患者様の処方を送信することで処方薬全てが払い出される、自動払い出しモードを体験してもらいました。ミスを防ぐための機能である、カメラで読み取った面積から端数を判断する機能、天秤で重さを量ることで数を判断する機能も体験してもらいました。

3つ目の薬剤師業務体験では、処方箋を受け取ってから実際にお薬ができるまでの流れを体験してもらいました。明らかな誤りがある3つの模擬処方と、添付文書の用



法用量との間違い探しを通して、患者様に安全にお薬を飲んでいただくための監査業務の重要性を説明させていただきました。その後、監査した処方箋がDimeRo II（自動散薬分包機）、PROUD（自動錠剤分包機）にて全自動で調剤される様子を見学してもらい、対物業務から対人業務へ移り変わってきていることを説明させていただきました。

参加者の皆様にはアンケートに協力していただきました。皆様からの評価は上々であり、薬剤師について少しでも知っていただける場として、次回以降も継続していきたいと思えます。

最後に、開催にご尽力いただいた方々、講師の先生方、協力・参加いただいた全ての皆様に深くお礼申し上げます。



## 石川県薬剤師の日 ～石川県中高生薬剤師セミナーのサテライト薬局に参加して～

笠原健招堂薬局 笠原友子

8月6日(日)、中高生薬剤師セミナーのサテライト薬局として、昨年に引き続き2度目の参加をしました。サテライト薬局として参加している理由は2つあります。

1つ目は、中高生セミナーの開催場所が金沢市内と遠方で行けない方がいる為です。以前、学校薬剤師担当中学校出身の生徒さん親子が相談に来られていました。(現在薬学生です)

2つ目は、近隣病院の薬剤師不在が県内問題にも発展して行っていたことから、ひとりでも関心を持っていただいて病院薬剤師として入局下さる方を望んでいたことからです。

昨年の中高生セミナー打ち合わせ会議の折に、薬局所在地が遠方なことから、『サテライト』と言う考えを持っていただくことは出来ないでしょうか?と提案してみたところ、コロナ禍と言うこともあって受け入れていただくことが出来、良かったと思っております。

### 1) サテライトとしての役割があることに気づかされました。

今回の参加者は、親子2組でした。1組目の親子から、自分たちが思ってもみなかった事を言われて、サテライト薬局としての役割があることに気づかされました。

母娘2人でのご参加だったのですが、金沢で開催されている本会場の方が近そうな住所地から40km以上

も半島の奥に向かったの参加でしたので理由をお聞きすると、まったく想像していなかったお返事が帰って来ました。

「個別相談がしやすいという観点から、広い会場ではなくサテライト薬局を選んだ」とおっしゃいます。かつ、お知り合いの方に聞いて当薬局をご存じで、当薬局がサテライト薬局としてエントリーしていたのを見て、すぐに応募したとおっしゃっていました。

2組目は、地元の学校薬剤師担当校出身の高校1年生女子で、中学の頃から薬剤師になりたいと言っていると耳にはしていました。県外の学校に行っていましたが、母親の実家のお婆ちゃんから聞いて、申込期間を過ぎてから応募して来ました。

彼女の学年には、中学入学前説明会の際に、入学心構えとして「睡眠について」20分ほどお話しています。入学後は毎年、薬物乱用防止教室で「身近な依存症」のお話をしており、毎年見事な感想文を書いておられて名前だけは記憶に残っている子でした。かつ、小学生の頃に薬局体験会に来





られていたのを他のスタッフが覚えており、当日実施した実験内容も覚えておられました。日常生活の中で、薬剤師として接し続けることも大切なのかも知れません。

## 2) Zoomでの全体セミナーについて

薬剤師と言うと「調剤室で薬を作るだけ」のイメージがあったようですが、いろいろな職種があることを知っていただけで良かったと思います。参加者は、薬剤師になってからの職種選択に幅があり、女性にとっての有資格が将来に対する保険になりそうなことが印象に残っていたようです。

## 3) 薬局でのフリーセミナーについて

実験おくすり教室を実施しました。服薬の際の水分量や剤型の違い、剤型の目的などを参加者個々のトレイに器具や薬剤を揃えて、実験を通して興味を持っていただきました。

今回の実験の中で、高校2年生の参加者が薬剤師に興味を持ったきっかけが、嚥下補助剤であることが分かり、研究志望があることも分かりました。

## 4) Zoomでの個別対応について

事前に対応担当薬局や薬剤師を決めてお

くと良いですね。去年は、リアル参加者が無かったので、待機して対応していましたが、今年は予定外の対応になりました。

## 5) 薬局での個別対応について

研究職に入るタイミングも色々であり、その気になれば薬剤師と言う資格でフレキシブルに人生を謳歌する方法があることを知っていただきました。いったん子育て退職をした後も、学び直しや職場復帰の機会もあることその他、何歳になっても大学の門戸は開かれており研究できることも知っていただきました。今回中高生セミナーの本セミナーでは学び直しや職場復帰ご案内は無かったですが、お母さま的には、「薬剤師の国家資格を得た上で、やりたい仕事をして欲しい」と言うのが本音のようで、沢山、お話が聞けて参加して良かったとおっしゃっていただきました。

もう一組の高校生は自宅が近いので家族も一致した希望があり、本人も「薬剤師を身近に感じていたい」と、残った夏休み中に何度か薬局に来ていました。

全体を通じて感じたことは、薬剤師として地域の中で顔の見える仕事をして行くことも、薬剤師志望の底辺を広げることになるのではと思えました。今回のように薬剤師になってからも多様な仕事の仕方があることを知ってもらえたことは、薬剤師の世界から一般の方々のところに一步踏み出せた感があります。あとは、サテライト薬局から本セミナー会場のブースにZoomをつなげられると良いと感じました。今後を期待いたします。お疲れさまでした。

## 令和5年度 「薬と健康の週間」行事の実施について

石川県健康福祉部薬事衛生課 薬事・麻薬グループ 福井 優子

毎年10月17日～23日までの1週間は、医薬品を正しく使用することの大切さ、そのために薬剤師が果たす役割の大切さを広く知ってもらうために、厚生労働省・都道府県・日本薬剤師会及び都道府県薬剤師会が主となり、積極的な啓発活動を行う「薬と健康の週間」です。

石川県では、例年、この行事の一環として、一般県民を対象とした「製薬工場見学会」を企画しており、今年も4年ぶりに、小太郎漢方製薬株式会社様のご協力の下、10月17日(火)に実施することができました。

抽選で当選した36名の参加者は、バス

で金沢駅から小太郎漢方製薬株式会社 美川工場（白山市）に向かい、会社概要などの説明を受けた後、医薬品の製造現場を見学しました。

工場での丁寧な対応もあり、参加者からは、「漢方薬を身近に感じることができた」「品質管理にきちんと取り組んでいるとわかり安心した」という感想をいただきました。

今回の工場見学を通して、薬剤師は、県民に対して、医薬品に関する正しい情報を提供し、正しい理解を促す役割を担っているということを再確認しました。



## 2023いしかわ介護フェスタに参加して

石川県薬剤師会 常務理事 松田 泰美

11月4日に石川県主催で明るく楽しい福祉・介護を伝えるためとのコンセプトで今年も石川県産業展示館3号館において、「2023いしかわ介護フェスタ」が開催されました。

その中で我々石川県薬剤師会も介護に係る職種の一つとしてブースを設置し次の4つの内容で介護フェスタに参加して参りました。

### 1 脳トレアプリを用いて来場者に脳の老化防止とトレーニングを行ってもらう。

お子さんから高齢者まで幅広く皆さん楽しみながら（時々歓声をあげながら）記憶力、判断力などのアプリに取り組んでおられました。

### 2 お薬相談コーナー

これはどのイベントでも必ず行っている定番中の定番。今回も薬の使い方、飲み合わせ、効果や副作用の心配など色々と相談を受けました。

次の2つは子供向けに行われた介護のお仕事体験ラリー（各ブースの体験用イベントに参加し台紙に4つのスタンプを集めるもの）向けに行いました。

### 3 薬包紙に用意したお菓子（ラムネ、マールチョコ）を包んでもらい薬袋に入れて完成。

ここではお手伝い頂いた薬学生の皆さんが大活躍。子供たちは学生がやるところを



見ながら懸命に（時々手を貸してもらいながら）薬包紙と格闘してお菓子を包んでいました。出来上がるとヤッターといった顔つきになるのが何とも可愛かったです。そして最後、ドラえもんのお菓子袋を見て更に喜んでくれたようです。

### 4 シップの貼り方体験

シップをただ貼るのではなく首、肩、関節など貼るには難しいところに、どうやったらはがれ難く貼れるのか？ それぞれの部位ごとに、それに合った切れ込みをシップに入れ実際に貼ってもらい貼り心地を体験してもらいました。体験された皆さん納得といった様子でした。

どの内容も当日参加して頂いた薬局の先生方、北陸大学の学生さん達にキチンと対応して頂いた結果、概ね好評だったようで中には感謝の言葉でブースを後にされた方が何人かおられました。

改めまして当日参加して頂いた皆さん、大変お疲れさまでした。ご協力に感謝いた

します。

さて当会の催しは以上ですが、フェスタ全体としてのイベント内容について述べておきますと、メインステージでは介護に興味をもってもらうためボルトボルズによる「笑ってためになる！サイエンスショー」が実施され、MROキャラクター「テミじい」も応援にやってきました。

そして、我々以外にも各医療・介護の関連が24団体、介護者養成校が3校、企業ブースが16社、飲食ブースが8件あり、それらをMROラジオも活用しながら、各団体関係者のユニークな内容、参加・体験型の介護イベントが行われておりました。

今回、「2023いしかわ介護フェスタ」に

参加し感じたのは、ただネットや資料を見るだけでは分からないことが実際の介護・福祉現場で働いている人達と直に会ってその魅力や仕事内容を知る事は大事であり、その機会を提供し、介護分野全体のイメージアップにつなげるため、このようなイベントは必要なのだという事でした。

来年以降も引き続き開催される予定のようですが、本年同様ご協力頂けるようであれば当会として今後もフェスタへの参加を続けて行きたいと考えます。来年参加の呼びかけを行う際には多数のご参加の申し込みを頂きますよう宜しくお願いいたします。





\*\*\*\*\* 【正答と解説】 \*\*\*\*\*

問222 正答は3です。

(解説)

中枢性尿崩症は、下垂体後葉から分泌される抗利尿ホルモンであるバソプレシンの産生・分泌能低下により、腎集合体での水再吸収が傷害され、低浸透圧尿が多量に排泄される疾患である。先天性と後天性に大別されるが、多くは後者であり、胚腫・頭蓋咽頭腫などの脳腫瘍が特に頻度が高い。主症状は口渇、多飲、多尿（1日尿量3L/m<sup>2</sup>以上）であり、治療薬として、バソプレシン誘導体であるデスマプレシンの口腔内崩壊錠もしくは点鼻薬が用いられる。

選択肢1：正。デスマプレシン点鼻スプレー（以下、本剤）は、鼻水等によって吸収される量にバラツキが生じることがあるので、薬剤の吸収を安定させるために鼻をかんでから使用するよう患者に指導する。

選択肢2：正。本剤は、複数回スプレーする場合、左右の鼻腔に交互にスプレーするよう患者に指導する。

選択肢3：誤。本剤は、頭を少し後ろに傾け、ノズルの先端を鼻腔に入れ息を止めてスプレーするよう患者に指導する。また、スプレー後は薬液を鼻の奥まで行き渡らせるように、頭を後ろに傾けた状態で軽く鼻をおさえ、鼻から静かに息を吸うようにする必要がある。

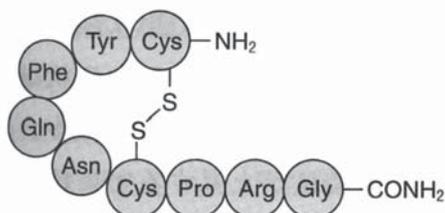
選択肢4：正。本剤使用中は、あらかじめ医師に指示された飲水量を厳守するよう患者に指導する。本剤は、腎臓の尿細管のバソプレシンV<sub>2</sub>受容体に結合して、水の再吸収を促進し、抗利尿作用を示す。デスマプレシンの効果が続いている状態で水分を過剰に摂取すると多量の水分貯留により血中電解質（ナトリウム等）濃度が低下し、水中毒症状（倦怠感、頭痛、悪心・嘔吐など）を引き起こすおそれがあるため、水分摂取量の調節が必要となる。

選択肢5：正。本剤を使用しないときは、冷蔵庫等（1～10℃）に容器を立てた状態にして保管し、凍らせないように患者に指導する。また、ポケットなどの体温が直接伝わるところに入れて携帯すると液漏れを起こすおそれがあるので、旅行等で携行する場合は極力温度差の少ない場所に保管する。

問223 正答は4、5です。

(解説)

選択肢1：誤。インスリンに関する記述である。バソプレシンは、アミノ酸9個からなるペプチドで、構造中にジスルフィド結合による架橋を有するが、1本のポリペプチドで構成される（下図）。



第97回薬剤師国家試験問114から引用

なお、デスマプレシンは、ヒトのバソプレシン（アルギニンバソプレシン）の1位のシス

テインが脱アミノ化し、8位のL-アルギニンをD-アルギニンに置換したバソプレシン誘導体であり、バソプレシンV<sub>1</sub>受容体に比べV<sub>2</sub>受容体に対して高い選択性を有し、昇圧作用をほとんど有さず、用量に依存して抗利尿作用が長時間持続する特徴を有している。

選択肢2：誤。バソプレシンは、血漿浸透圧の上昇に伴い、主に視床下部の室傍核および視索上核の大細胞性神経分泌ニューロンの細胞体で合成された後、下垂体後葉に投射しているこれらの神経分泌ニューロンの軸索内を運搬されて下垂体後葉の軸索終末から循環血液中に分泌される。

選択肢3：誤。グアニル酸シクラーゼを活性化して、血圧を低下させるものに心房性ナトリウム利尿ペプチド（ANP）などがある。ANPは心房から分泌され、血管などに存在するANP受容体への結合を介して膜結合型グアニル酸シクラーゼを活性化させ、血管拡張作用や利尿作用を示すことで血圧を低下させる。

選択肢4：正。バソプレシンは、血管平滑筋のV<sub>1</sub>受容体（Gqタンパク質共役型受容体）を刺激し、ホスホリパーゼCの活性化を介して血管収縮作用を示す。

選択肢5：正。バソプレシンは、腎集合管のV<sub>2</sub>受容体（Gsタンパク質共役型受容体）を刺激し、プロテインキナーゼAの活性化を介して水チャネル（アクアポリン-2）の発現を増加させることで、集合管における水の再吸収を促進する。

（文責 野村 政明）

## 《チャレンジ2》

日常生活の中で特に若い女性にとって健康とともに美容もあわせて意識する事が多い肥満や体脂肪率に関連した話題は尽きないものである。そこで、この話題性の高い事象に対して地域の健康サポート薬局がどのように関わっていくべきかというあたりに焦点を当てた問題が第108回薬剤師国会試験に出題されたので、その問題を取り上げて解説を加えた。

### 問232-233

22歳女性。身長160cm、体重63kg。女性は肥満と体脂肪率が高いことを気にしており、糖質制限ダイエットによる摂取エネルギー制限が肥満予防に有用であると考えていた。インターネットや書籍の情報を基に糖質制限ダイエットを始めたが、過度の糖質制限は体に良くないと友人から聞き、不安になって近所の薬局を訪れて薬剤師に相談した。

### 問232（実務）

薬剤師は女性に対し、糖質制限の問題点を説明した上で、食生活の改善と適度な運動を勧め、同時に特定保健用食品を試してみることを提案した。薬剤師が女性に提案した特定保健用食品の成分として最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- 1 大豆イソフラボン
- 2 キシリトール
- 3 カゼインホスホペプチド（CPP）
- 4 茶カテキン
- 5 ラクトトリペプチド

## 問233（衛生）

この女性の相談をきっかけに、薬局が開催する地域住民向けセミナーで糖質制限のことで取り上げることになり、薬局内で勉強会を行った。糖質制限が糖質、タンパク質及び脂質の代謝に及ぼす影響に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1 糖質制限を行うと、膵臓からインスリン分泌が亢進する。
- 2 糖質の摂取不足により血中グルコース濃度の低下が起こると、アミノ酸、乳酸、グリセロールのいずれからもグルコースが作られる。
- 3 糖質制限が続くと、肝臓で遊離脂肪酸の $\beta$ 酸化が亢進し、大量に生成したアセチルCoAからケトン体が産生される。
- 4 肝臓のグリコーゲン、糖質制限状態ではエネルギー源としては利用されない。
- 5 脳や神経系の細胞は、グルコースを細胞内に貯蔵しているため、糖質制限の影響を受けにくい。

\*\*\*\*\* 【正答と解説】 \*\*\*\*\*

問232 正答は4です。

## （解説）

特定保健用食品（トクホ）とは、体の生理機能などに影響を与える保健効能成分（関与成分）を含み、健康増進法第43条第1項の許可を受け、その摂取により特定の保健の目的が期待できる旨の表示を行うものを指す。

女性は、肥満と体脂肪率が高いことを気にしている。このことに関連した特定保健用食品の成分としては、茶カテキンが適している。

選択肢1：大豆イソフラボンは、女性ホルモン様の作用を有した植物性エストロゲンとして知られている。エストロゲンは、骨を破壊する破骨細胞の作用をコントロールしてカルシウムが過剰に溶け出すのを防ぐとともに、骨形成を促進する作用を有している。このことから保健の用途として「骨の健康が気になる人」に適した特定保健用食品の関与成分となっている。よって、今回の女性へ提案すべき成分としては不適切である。

選択肢2：キシリトールは、虫歯の栄養素にならない成分であることから虫歯の誘発に関与しない。このことから保健の用途として「歯を丈夫で健康にしたい人」に適した特定保健用食品の関与成分となっている。よって、今回の女性へ提案すべき成分としては不適切である。

選択肢3：カゼインホスホペプチド（CPP）は、牛乳タンパク質のカゼインの酵素分解物で、カルシウムとリンなどが結合してできる不溶性の塩の生成を抑制することで、カルシウムが溶けやすい状態となり、小腸からのカルシウム吸収を促進させる作用を有している。このことから保健の用途として「ミネラルの吸収を高めたい人」に適した特定保健用食品の関与成分である。なお、CPPはカルシウムを含有していないため、単独での作用は期待できず、牛乳タンパク質由来であることから牛乳アレルギーの人への使用は避けなければならない。よって、今回の女性へ提案すべき成分としては不適切である。

選択肢4：茶カテキンは、緑茶葉に含まれる植物由来のポリフェノールの一種で、主にお茶の苦渋味成分である。脂肪の分解に働く酵素と脂肪の消費に働く酵素をともに活性化して体内脂肪を減らす作用を有している。このことから保健の用途として「食後の血中中性脂肪が上昇しにくくしたい人、体脂肪がつきにくくしたい人」に適した特定保健用食品の関与成分である。よって、今回の女性へ提案すべき成分としては適切である。

選択肢5：ラクトリペプチドは、アンジオテンシン変換酵素（ACE）の阻害作用を有した発酵乳より得られた降圧ペプチドである。その他にも牛乳、イワシやマグロなどの魚介類、コーン、米、大豆などのタンパク質を酵素により分解して得られた降圧ペプチドが知られている。このような作用から保健の用途として「高血圧が気になる人」に適した特定保健用食品の関与成分である。よって、今回の女性へ提案すべき成分としては不適切である。

問233 正答は2、3です。

（解説）

選択肢1：体内の糖が糖質制限を行うことにより不足すると、膵臓のランゲルハンス島A（ $\alpha$ ）細胞からグルカゴンの分泌が亢進するが、逆に血糖値が上昇した場合には、膵臓のランゲルハンス島B（ $\beta$ ）細胞からインスリンの分泌が亢進する。よって、この選択肢の内容は誤りである。

選択肢2：選択肢1の解説にもあるように、血糖値が低下するとグルカゴン分泌が亢進してアミノ酸、乳酸、及びグリセロールからグルコースが生成される。この現象は、血糖を維持するための糖新生を促す経路である。よって、この選択肢の内容は正解である。

選択肢3：糖質制限が続くといわゆる飢餓状態に陥り、脂肪組織内に蓄えられていた脂肪が分解されて肝臓に運ばれる。その後 $\beta$ 酸化を受けることによりアセチルCoAが生成する。アセチルCoAが過剰になるとケトン体が生成されて、エネルギー源として脳や筋肉等で利用される。よって、この選択肢の内容は正解である。

選択肢4：飢餓状態に陥ると、選択肢3に示されたアセチルCoAの生成に加えて肝臓中のグリコーゲンから変換されたグルコースもまた、エネルギー源として利用される。よって、この選択肢の内容は誤りである。

選択肢5：脳や神経系の細胞は、グルコースを細胞内には貯蔵していないことから、糖質制限状態ではエネルギー源であるグルコース不足が生じてしまうため影響を受けやすくなる。よって、この選択肢の内容は誤りである。

（文責 石川 和宏）

## 委員会だより

### 令和5年度 災害薬事コーディネーター養成研修会報告

薬剤師災害支援活動事業委員会 竹 端 裕

2023年9月9日(土)～10日(日) 穴水ふれあい文化センターにて令和5年度 災害薬事コーディネーター養成研修会が行われました。

開催形式はハイブリッド形式で行い現地参加者8人、オンライン参加は9日…13人、10日…9人でありました。

コロナの影響もあり、災害薬事コーディネーター養成研修会の開催自体4年ぶりに行われましたが、その間に過去講師を引き受けて頂いていた鬼頭先生もお亡くなりになられており今回の研修は委員会の先生方で研修内容の企画・資料の整理や準備を進めて参りました。

#### 〈研修1日目〉

16：30に会場に入り会場設営の準備に取りかかり、綿谷先生を始め現地参加される先生方が時間前に集合し準備と一緒に取りかかって頂いたお陰でスムーズに準備は進められ研修会は定刻18：00よりスタートすることができました。



研修会冒頭、これまで石川県薬剤師会において薬剤師災害支援活動事業委員会を引っ張りご尽力くださりました北山朱美先生への黙祷を捧げました。

18：30〈講義1〉過去に災害薬事コーディネーター養成研修会で講師をされていました故鬼頭先生の作成・使用されていた資料を基に永井先生にお話して頂きました。

20：00から〈講義2〉クロノロについての説明を引き続き永井先生から行って頂きました。

予定されていた終了時間は21：30だったが40分ほど早く20：40に1日目研修終了。

現地会場では研修終了後もクロノロや情報管理についての意見交換などが活発に行われ研修室では21：00まで行われそれ以降は場所を変え懇親会と称した研修会2次会が行われました。

懇親会では参加された先生方の自己紹介から始まり県統一の災害時における報告書



のフォーマットをどうしていくのか、2日目に行われるクロノロの実践研修の内容について等話し合い、大変内容の濃い時間を過ごすことができました。

### 〈研修2日目〉

9:00より中森会長から開会の挨拶を頂いてからスタートしました。

〈講義3〉 珠洲地震の振り返りとスモールディスカッション、引き続き〈講義4〉 クロノロ～実践編～を行いました。今回のために永井先生が用意されたシナリオを用いて現地参加者はホワイトボードに、オンライン参加者は各自ノートなどに実際にクロノロを体験しました。

Googleのスプレッドシートを用いて経

時的に情報が集められる・自ら情報を上げる方法なども体験いたしました。

冒頭でも触れましたが、災害薬事コーディネーター養成研修会は4年振りに開催するにあたり、講師の役割を担って下さったり、研修内容の精査など過去の災害薬事コーディネーター養成研修会に比べ多くの負担を頂きました。この場をお借りしまして委員会の先生方には感謝申し上げます。

成果として、今回の研修の中で参加者から沢山のご意見・質問を頂きました。

今後の薬剤師災害支援活動事業委員会で検討していくもの・次回の災害薬事コーディネーター養成研修会で取り入れるものなど委員のメンバーと共有していきたいと思えます。

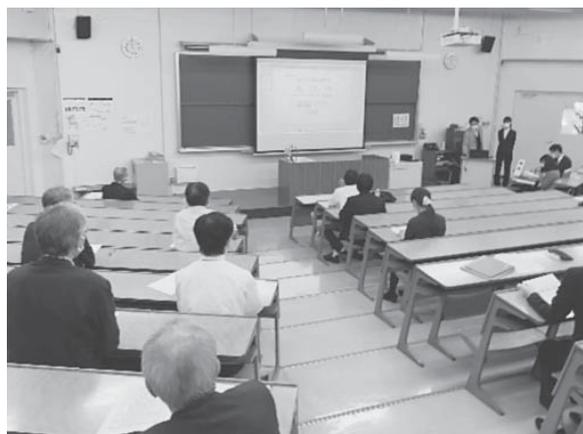
## 2023年度第Ⅲ期北陸大学薬局 実務実習学生発表会を開催して

実務実習委員会 中谷 浩子

2023年11月5日(日)、第Ⅲ期の北陸大学薬局実務実習学生発表会が開催されました。

コロナ禍で中止が続き、ようやく再開できてからも、第Ⅰ期はWeb、第Ⅱ期はハイブリッドでの開催でした。Webでの開催も、感染や場所を気にせずに参加できる

メリットがありますが、何度呼びかけても顔を出して貰えない参加者が多く、反応がわかりにくく交流が不十分という問題がありました。今回は、一部の指導薬剤師のみWeb参加となりましたが、その他の全員が北陸大学に集合し、24名の学生が、2



つの教室に分かれて発表しました。発表時間は7分、質疑応答3分は以前と同じです。

内容は、実習先の薬局の特長に興味を持って題材を選んだ例が多かったです。処方の方が多かった軟膏や散剤・吸入薬・降圧薬や、薬局が力を入れている在宅や退院支援等の多職種連携・透析や妊婦対応・地域活動等から、患者背景等を踏まえて自分なりに考えたこと等をまとめられていました。

指導下さった薬剤師の先生方、発表に協力下さった患者さんや多職種の皆様に、深く感謝申し上げます。

質疑応答では、学生からの発言が少なかったのが残念でした。その分、大学の先生方がフォローして下さいました。リアル開催だったので、終了後の学生と交流できたのは嬉しかったです。ご尽力頂いた先生方、ありがとうございました。

## 令和4年度 県民啓発講座のアンケート結果

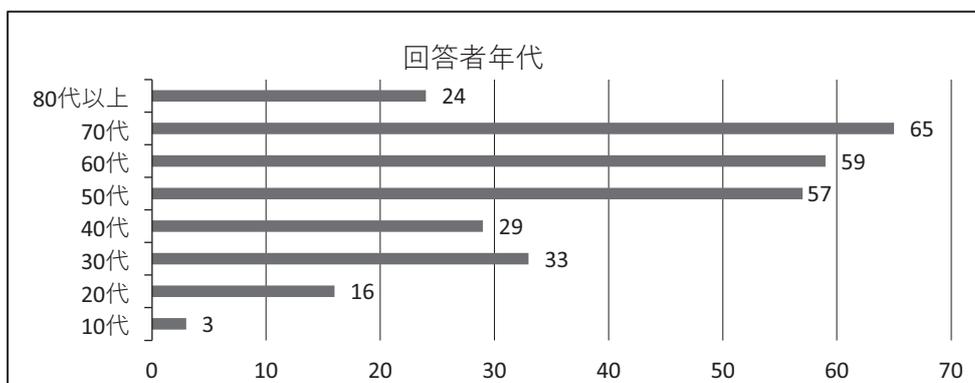
県民啓発講座実行委員会 石浦 祐喜子

令和4年度 県民啓発講座で配布したチラシのアンケート集計結果を報告いたします。

チラシ配布：保険薬局・公民館等 14,420枚

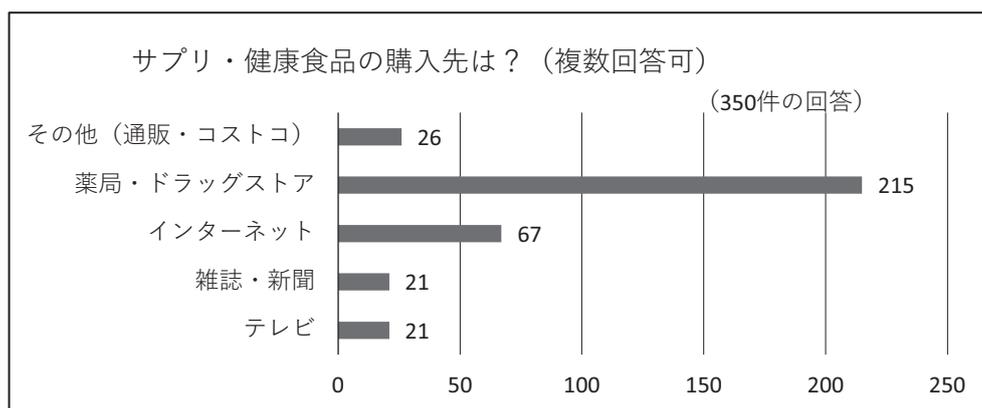
配布期間：令和4年12月21日～令和5年1月31日

アンケート回答数：285件 【内訳】 ・QRコードによる回答 158件  
・はがきによる回答 127件



### 1. サプリ・健康食品の購入先は？（複数回答可）

A. テレビ B. 雑誌・新聞 C. インターネット D. 薬局・ドラッグストア E. その他



## 2. あなたにとって生きがいは？

- (1) 家族（祖母、子供、孫、家族の笑顔など）
- (2) 趣味（旅行、スポーツ、サークル活動、読書など）
- (3) 食べること（晩酌）
- (4) 健康であること
- (5) 遊ぶこと（ショッピング、犬・猫）
- (6) 仕事（一生懸命働く）・ボランティア活動
- (7) 友人や親しい人と会う
- (8) 人の役に立ち、楽しみや喜びを共有できること
- (9) 日々楽しく、大切に過ごすこと
- (10) 目標に向かって努力すること

## 3. それを続けるためにしていることは何ですか？

- (1) 健康に気をつける
- (2) 運動する（体操、筋トレ、ウォーキングなど）
- (3) 食事に気をつける
- (4) 睡眠をしっかりとる
- (5) ストレスをためない
- (6) 友達との関わりを大切にする
- (7) 仕事をしてお金を貯める
- (8) 仕事・家事の効率を上げて時間をつくる
- (9) 色々見聞を広げて、情報収集する
- (10) ポジティブ思考・笑顔でいる など

## 4. 薬局に対してサポートしてほしいことはありますか？

- (1) 薬の説明（作用副作用、飲み合わせ、保管、サプリ、アレルギー）
- (2) 薬の情報提供（残薬に調整、ジェネリックの提案、市販薬との違い）

- (3) 健康相談（気軽に立ち寄れる場であって欲しい）
- (4) 健康管理（血圧・体重等の管理）
- (5) 健康の情報提供（冊子、セミナー、フレイル）
- (6) アドバイス（セルフメディケーション、自分に合う医療施設）
- (7) 食事・献立のおすすめ
- (8) 健康状態への言葉かけ
- (9) 対応（専門用語を使わず親切で分かりやすい丁寧な説明、笑顔で優しく）
- (10) 血流を測る器具等の設置
- (11) サービス向上（試供品、給茶機、休憩室）
- (12) ネット受付、宅配
- (13) 処方箋の薬の欠品を少なくして欲しいと願っています
- (14) 夜の開局時間を長くして欲しい
- (15) 緊急時の対応 など

1. クイズの答え ※A・B・C・Dを順番に並べてください。

A  B  C  D

以下のアンケートにご協力をお願いします。  
(当てはまるものに○をつけてください。複数回答可)

2. サプリ・健康食品の購入先は？  
A. テレビ B. 雑誌・新聞 C. インターネット  
D. 薬局・ドラッグストア E. その他( )

3. あなたにとっての生きがいは？  
( )

4. それを続けるためにしていることは何ですか？  
( )

5. 薬局に対して、サポートしてほしいことはありますか？  
( )

---

ご住所 〒 \_\_\_\_\_

ご氏名 \_\_\_\_\_

年代 10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上      お電話番号 \_\_\_\_\_

サプリ・健康食品の購入先は、回答数の約6割が薬局・ドラッグストアで、約2割がインターネットとなりました。生きがいは、家族・趣味と答えた方が多く、それを続けるために健康、特に運動・食事・睡眠に気を付けているとの回答が多く見受けられました。薬局に対しては、薬のことだけ

ではなく、健康相談・健康管理のサポートを希望されていました。

このアンケートを踏まえて私たち薬剤師は、地域のお住まいの方や患者さまが健康で豊かな生活が送れるよう支援していきたいと思います。

## 支部だより

### 白山市福祉健康まつりへの参加を通して

白山ののいち支部 青い森薬局倉光店 松本 暁人

2023年10月15日に松任総合運動公園で行われた白山福祉健康まつりの一画で薬剤師会白山ののいち支部の一員として参加させていただきました。天気は生憎の雨でしたが沢山の方に来ていただき会場では福祉団体による作品展示や太鼓演奏を見学する人、子供縁日や屋台村、わくわく遊びコーナーでは子供達の楽しそうな笑顔が並んでいました。同時に開催されていたダンスフェス也大盛り上がりでした。

そのような中で薬剤師会白山ののいち支部では恒例の(?)子ども薬剤師体験・血圧血管測定器を使用した血圧・血管年齢

チェック・認知機能検査・お薬相談コーナーを設けて薬剤師と当時実務実習中の北陸大学の学生達が担当しました。

毎年多くの方に来ていただいておりますが今年は子ども薬剤師体験に210人、血圧・血管年齢チェックに60人、認知機能検査・お薬相談にも50人以上と例年の倍近くの方に利用していただき大成功だったかと思えます。

子ども薬剤師体験では子供達にお菓子の一包化の体験をしてもらいました。職場体験とまでは言い過ぎですが、機械を使用し薬を飲みやすくするために一回分の薬を小



大盛況で外まで列が出来てしまった状態



全体図

分けにするという事、一包化する事で飲み間違いや飲み忘れを防ぎ過量に飲まないようにするという話をしました。ただ、予定より多くの子供達が来てしまい、ゆっくり話が出来ずに理解出来なかった子も多かった事が反省点です。

それでも機械を不思議そうに見ていたり、お菓子をもらえて嬉しそうにもらえて少しでも薬や薬剤師に興味を持ったり何か感じる事が一つでもあったのではと期待しています。

普段薬剤師として働いている身としては当たり前前の光景ですが、一つ一つの作業を丁寧にすると子供達を見て気持ちを新たに引き締め直す事が出来ました。来年度以降人員を増やしてより来てくれた子供達とのコミュニケーションの時間をとれればと思います。

認知機能検査や血管年齢検査でも薬や健康の悩み事を聞くと、多くの方から「最近物忘れが多くなっている気がする」「血圧が下がらない」「以前測定した血管年齢では10歳以上実年齢と離れていた」「健康診断の結果で気になる事がある」「今飲んでいる薬があっているのかいつまでも飲まないといけないのか」等沢山の相談をもらいました。このような会場で相談の敷居を下

げると、こんなにも多くの方が薬について健康について相談する場所を欲しているのかと感じました。

理想を言えば、今回の様な健康まつりの会場では無く、当たり前前に薬局が健康の相談が出来る場所として薬剤師が相談される相手として常に地域の住民の側にあるべきだと思います。処方箋が無いと入りにくい薬局から脱却し、地域に寄り添った薬局・薬剤師が必要とされているのかと思います。

また、今回の福祉健康まつりを運営していた白山市役所いきいき健康課の方々とも話をする機会をもらえました。他職種の方と話出来た事も今後地域医療の一員となるためにとっても良い経験になったかと思えます。

地域貢献の一環として今回のまつりに参加させていただきましたが、結果は地域医療への貢献、地域住民の生活を守るという薬剤師の在り方を考え直す良いきっかけになりました。

今回足を運んでくれた方々だけでなく他薬局の薬剤師や学生、運営している市役所の方からも良い刺激をもらいました。普段から医療人として薬剤師として自覚を持って働いているつもりでしたが日々の業務に

追われ見失っていたところもあったかと思  
います。

上手く話が出来ない場面もありました  
が、来てくれた方たちには薬剤師に少しで  
も良いイメージを持ってもらい、薬剤師に  
相談したいという人が1人でも増える事に  
繋がってくれていれればと願っています。



血管年齢測定（右）認知機能検査（左）

## 令和5年度(第64回)石川県防災総合訓練及び 緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練を終えて

能登北部支部 宇出津らいふ薬局 横川 聖

### 【概要】

#### 1 目的

地震及び風水害、火災等各種災害の発生  
に際し、災害応急対策に万全を期すため、  
災害対策基本法及び石川県地域防災計画、  
石川県緊急消防援助隊受援計画等に基づ  
き、緊急消防援助隊をはじめとした県内外  
の防災関係機関及び地域住民の参加のも  
と、総合的な防災訓練を実施し、防災活動  
に関する責任の自覚と技能の向上、防災関  
係機関の連携を深めるとともに、広く県民  
に防災意識の高揚を図る。

#### 2 日時

令和5年11月11日(土)8時から  
12日(日)12時



#### 3 場所

能登町一円及びその周辺地域  
(宇出津新港、能登高校、丸石資材株採  
石場、北河内トンネル など)

#### 4 主催

石川県、能登町  
総務省消防庁、緊急消防援助隊中部ブ  
ロック合同訓練石川県実行委員会

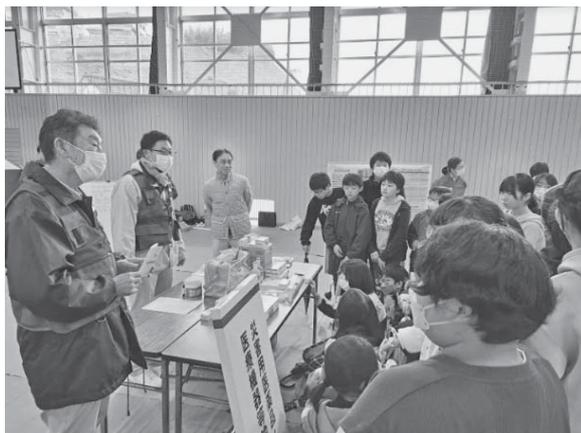
#### 5 参加機関及び参加人員

- (1) 参加機関 約100機関
- (2) 参加人員 約16,000人  
(地元住民15,000人含む)

#### 6 訓練想定

(1) 能登地方において、11月10日(金)  
夜遅くから大雨となり、11日(土)未明、線





状降水帯が形成・維持され、気象庁から「顕著な大雨に関する気象情報」が発表されたことから、県では災害対策本部を設置。

(2) 大雨で地盤が緩み、土砂災害の危険性が非常に高まる中、11日(土)午前8時30分頃、能登半島東方沖を震源とする地震が発生し、能登町で震度6強を観測する。

(3) この地震により津波が発生し、能登半島を中心とした沿岸全域に到達する。

(4) 地震及び津波により、甚大な人的・物的被害となり、一部の地域では火災も発生する。

薬剤師会からは8名（伊藤昭一、柏原宏暢、竹端 裕、綿谷敏彦、高森太郎、高谷雅樹、笠原秀行、横川 聖）が参加した。

### 【訓練内容】

薬剤師会としては能登高校第一体育館にて「災害用医薬品・医療機器等輸送訓練」ならびに「救護所等でのお薬相談」を行った。

「災害用医薬品・医療機器等輸送訓練」では模擬医薬品（空箱）を用いて卸から避難所等の医療救護所に輸送された想定で薬品や医療機器の受取・検品・仕分けを行った。訓練中の活動内容は簡易ホワイトボー



ドにてクロノロの記載を行った。「救護所等でのお薬相談」では、パネルやお薬手帳（見本）を用いて災害時の薬についての疑問や「お薬手帳の重要性」の啓発を行った。

### 【感想】

石川県薬剤師会として防災訓練に参加させていただきました。前回、災害薬事コーディネーター養成研修会にも参加させていただきましたがその時には私自身が災害の経験がなく、不安がありました。今回の訓練を通じて実際に災害が起きた際に薬剤師としてできること、多職種との連携の流れを直に感じる事ができ、少し不安が解消されました。またお薬手帳の電子化が進む中で災害時ではスマホが使用できない可能性もあり、紙媒体のお薬手帳も需要があると感じました。災害は起こらないことが一番ですが起きた際に慌てずしっかり対応できるようにしたいと思います。

以上、訓練参加レポートとさせていただきます。

## 北陸大学元学長「越浦先生を偲ぶ会」を開催して

石川県薬剤師会 常務理事 村田 世里子（北陸大学二期卒）

長年、石川県薬剤師会の会員であり、北陸大学学長も努められた越浦良三先生が、今年3月19日に90歳でお亡くなりになりました。

元北陸大学薬学部教授の宮本謙一先生、現北陸大学薬学部教授の野村政明先生に指揮を執っていただき、9月30日に金沢KKRホテルにおいて、薬理学教室の卒業生による、「越浦先生を偲ぶ会」を執り行いました。

北陸大学は2025年に創立50周年を迎えます。先生にお世話になった1期生から10期生までに参加者を募ったところ、2期生から7期生まで、遠くは、茨城、愛媛から参集していただき23名の参加がありました。

15時半から先生が葬られている金沢駅西の願楽寺（がんゆうじ）に向かい、住職にお経をあげていただき皆でお参りした

後、18時半からKKRホテルで偲ぶ会を始めました。まず、1分間の黙とうの後、宮本先生から越浦先生のご経歴と最近のご様子などをご報告いただき、その後に献杯して会を始めました。先生は闘病中ではありませんでしたが、昨年末まではお元気に過ごされていた様子でしたが、突然の訃報に宮本先生もびっくりされたようです。

会が1時間位経過したのち、参加者の近況報告をしてもらいました。皆さん60歳を超えていて、もう定年退職し悠々自適な毎日を過ごしておられる方、まだ現役でバリバリ働いておられる方、また重病を患ってそれを克服しこの会に元気に参加していただいた方、現在闘病中なのにもかかわらず参加していただいた方など、様々なエピソードをお聞きし、どれだけ時間があっても話は尽きませんでした。先生は学生の就職先のお世話も熱心にされておられたご様



子で、私もその一人ですが教え子への愛情が伝わる話をたくさん聞かせていただきました。

また、野村先生には参加者の卒業アルバムを編集していただき懐かしく拝見させていただきました。皆さんどこかに面影がしっかり残っていて、40年ぶりの再会にもかかわらず時間はもっと短縮されたような気がしました。

このように大学入学から現在まで、様々な人生を経験された皆さんのお話をお聞き

し、心とむ時間を過ごさせていただいたのも越浦先生のお人柄だと心から感謝しております。

最後に皆さんから「またいつかこのような会が開催出来たらいいね」との声も聞かれ、名残惜しいことでしたが無事終了しました。

卒業生一同、ここに改めて越浦先生のご冥福をお祈りするとともに薬理学教室の卒業生の皆様の御健勝を心からお祈りいたします。

## 石川県薬剤師会への特殊詐欺被害防止 のための協力依頼について ～薬局利用者へのチラシ配布による注意喚起～

石川県薬剤師会 副会長 藤原 秀 範

令和5年9月29日(金)、野々市市白山町の中森全快堂白山町薬局において、田端真志石川県警察本部生活安全部首席参事官が、県内で続発している特殊詐欺の被害を防止するため、中森慶滋石川県薬剤師会会長に特殊詐欺の被害防止対策が記載された啓発チラシを手渡しして、「依然として被害に占める高齢者の割合が高く、被害に遭いやすい高齢者への注意喚起が喫緊課題に

なっておりますので、日頃薬局を利用される患者さんに薬を渡す際に一声掛けていただき特殊詐欺の未然防止に努めていただきたい。」と薬局利用者への配布と注意喚起の協力を求めてきました。

中森慶滋会長は、挨拶の中で「特殊詐欺は人々の認知機能に付け込んだ卑劣な犯罪です。薬局では多くの患者さんが訪れます。固定電話が危ないと言うことや医療費



の還付を受けることがないと伝えることで、詐欺被害の防止に協力することは、我々の責務であると考えます。石川県警と石川県薬剤師会とが協力し、特殊詐欺被害の防止の注意を喚起するチラシを配布してその効果が出ることを期待します。」と述べられて啓発チラシを受け取りました。

啓発チラシは既に各薬局に配布していますので、患者さんに薬袋を手渡す際に啓発チラシを添え「固定電話が危ない！」や「還付金詐欺に注意を！」と一声かけて被害抑制に一役買っていただきたいと思えます。

## 特殊詐欺被害防止啓発へのご協力をお願い！！

石川県警察本部生活安全部  
首席参事官兼生活安全企画課長 田畑真志

石川県薬剤師会の皆様には、平素から特殊詐欺被害防止対策に御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、県内の特殊詐欺による被害は、本年8月末の時点で、認知件数が73件、被害額が約1億6,200万円と、いずれも昨年に比べ増加するなど、極めて厳しい状況となっており、県警察では、続発する被害に歯止めをかけるため、本年9月15日から年末までの間を特殊詐欺被害防止対策の強化期間と定め、各種取組を強力に推進しております。

被害の特徴としましては、被害者の約6割が65歳以上の高齢女性であり、また、約7割が犯人からの最初の連絡を固定電話で受けていることなどがあげられ、特殊詐欺被害のほとんどが、自宅の固定電話への1本の電話から始まっています。

被害を防止するためには、通話内容が自動録音される機能等が付いた防犯機能付き電話機を導入するなどの固定電話の防犯対策が重要であると考えております。

高齢者をはじめとした多くの県民の皆様が利用する薬局において、固定電話の防犯対策を呼び掛ける「注意喚起チラシ」をお薬とともに配布するなど、注意を呼び掛けていただくことで被害を防止することができるものと期待しております。

つきましては、御多忙の折、誠に恐縮ではございますが、当方で用意いたしました注意喚起チラシを患者様に配布の上、特殊詐欺への注意を呼び掛けていただきたく、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

《注意喚起チラシ》

**自宅の固定電話が危ない!**  
防犯機能付き電話機を導入しよう!

47都道府県の幹で、**ストップ・オレオレ詐欺!**



特別防犯支援官  
阿田 啓太

不審な電話は、**SOS47** ストップ・オレオレ詐欺47  
警察に相談を。

表

詐欺被害のほとんどが、  
自宅の固定電話への1本の電話から始まっています!

**これで安心! 防犯機能ポイント**

**POINT 1** 着信音が鳴る前に、自動メッセージで警告!  
「この通話は防犯のために録音されます」などのメッセージが流れることで、着信音が鳴る前に詐欺の犯人を撃退できます。

**POINT 2** 電話に出ると、通話を自動録音!  
電話にでなくても、通話内容が録音されるので後から聞き直すことができます。

**POINT 3** 非通知の電話は、着信拒否!  
非通知設定の電話は、着信音も鳴らさずに自動的に拒否できます。  
※ナンバーディスプレイの機能が必要

**POINT 4** 未登録番号からの着信対策!  
登録していない番号からの着信を拒否したり、注意を促したりする機能もあります。  
※ナンバーディスプレイの機能が必要

もしも突然電話がかかってきたら…  
その電話、詐欺かも!

- 身に覚えのない際は無視する
- 子供や孫の会社の同僚・友人と書いても信用しない
- 買物、銀行振込と書いても信用しない
- 現金送金やキャッシュカードを他人に貸さない
- お金を要求されても、簡単に振り込んだり渡したりしない

「警察官・SOS47 特殊詐欺対策ページ」  
WEBサイトで公開中! | SOS47 QRコードで検索!

一人で判断せずに  
ご家族や警察に  
まずは相談を!

緊急の電話は110番 相談の電話は#9110

全国防犯協会連合会のウェブサイトでご検索欄を掲載!  
<https://www.kohan.or.jp/suishou/denwa.html>

裏

**特殊詐欺の被害に遭わないために**

特殊詐欺の犯人からの電話のほとんどが自宅の固定電話にかかってきます。  
犯人からの電話を受けないための固定電話対策が被害防止の第一歩です!!

ご存じですか?  
**特殊詐欺被害を防止するためのNTT西日本の取組**

- ① ナンバー・ディスプレイおよびナンバー・リクエストの高齢者無償化受付** 適用開始日: 2023/5/1  
70歳以上の契約者または70歳以上の方と同居している契約者の回線を対象として、ナンバー・ディスプレイおよびナンバー・リクエストの月額利用料および工事費を無料とします。(申込制)
- ② 特殊詐欺対策サービスの無償化** 申込受付期間: 2023/5/1~2023/10/31  
特殊詐欺対策サービスの月額利用料および工事費を、申込受付期間・申込数を限定して一定期間無料とします。  
無償化適用期間(2023/5/1~2025/3/31)無償化適用人数(NTT西日本で5,000名を対象)※  
※申込期間内であっても、申込が5,000名に達し次第、受付を終了します。申込期間が延長、申込数は拡大されることがあります。
- ③ 電話番号の変更に関する工事費の無償化**  
特殊詐欺等の犯罪被害を受けた場合、または受けるおそれがある場合は、お客様からの申し出により電話番号変更の工事費を無料とします。  
※NTT西日本の2023年3月22日News Releaseより抜粋  
これらの取組に関する詳細情報やお問い合わせは  
NTT西日本特殊詐欺対策WEB申込 <https://www.ntt-west.co.jp/product/saigitaisaku>  
NTT西日本特殊詐欺対策ダイヤル 0120-931-965  
(営業時間: 午前9時~午後5時(年末年始12/29~1/3を除きます)、お問い合わせをお願います。『電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようお願いいたします。』)

**私たちはダマされません!**  
特殊詐欺撲滅

NTT西日本 × 石川県警察 薬 北 陸 支 店 × 石川県防犯協会連合会

表

ナンバー・ディスプレイ、ナンバー・リクエスト  
無償化対象の判断チャート

NTT西日本の電話サービスをご利用中ですか?

(いいえ) (はい)

ケーブルテレビ、コラボ光 (Softbank光・ドコモ光等) 電話サービスをご利用の会社に ご確認ください

加入電話 (住宅用)  
INSネット (住宅用)  
ひかり電話 (基本プラン)  
のいずれですか?

対称回線  
加入電話/加入電話・ライトプラン (住宅用)  
INSネット64/INSネット64・ライト (住宅用)  
ひかり電話  
光マイタウンネクスト ファミリーライトタイプ  
光回線電話 (住宅用)  
ひかり電話ネクスト (住宅用)

(いいえ) (はい)

電話は個人としての利用ですか (法人利用ではありませんか?)

(いいえ) (はい)

契約者 (または同居家族) に 70歳以上の方がいますか?

(いいえ) (はい)

無償化対象外 無償化の対象

電話での受付開始: 令和5年4月17日~  
※webでの受付開始、割引の適用開始は令和5年5月1日からです  
申込先:  
(電話でお申し込みの場合)  
NTT西日本 特殊詐欺対策ダイヤル ☎ 0120-931-965  
※午前9時~午後5時(年末年始12/29~1/3を除きます)  
※電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようお願いいたします  
(webでお申し込みの場合)  
<https://ntt-west.co.jp/product/saigitaisaku>  
※webでの申込受付は令和5年5月1日(月)から開始します

裏

## 第37回（令和5年度）北國がん基金啓発活動部門採択 「医療者によるがん緩和医療に関わる薬剤師の支援」 オンライン講演会の紹介

金沢大学附属病院 薬剤部 副薬剤部長 坪内 清 貴  
(同) 緩和ケアセンター長 山田 圭 輔

### はじめに

令和5年11月19日に「医療者によるがん緩和医療に関わる薬剤師の支援」活動の一環としてオンライン講演会（石川県薬剤師会後援）を開催しました（図）。Think Quality and Life & Deathをメインテーマに、坪内の司会で、山田が「犀の角のようにただ独り歩め」、梅下翔先生（石川県金沢済生会病院薬剤部）が「薬剤師らしく人が人をケアすることについて考えてみた」、中森慶滋会長が「宇宙と繋がったコルトレン体験」のタイトルで講演しました。



写真の説明

後列：清水，坪内，菅（金大薬学系臨床薬学研究室）  
前列：山田，中森会長，梅下

がん診療連携拠点病院強化事業 / 令和5年度石川県高度・専門医療人材養成支援事業

### 第37回 北國がん基金啓発活動部門 「医療者によるがん緩和医療に関わる薬剤師の支援」

日時 令和5年11月19日(日) 形式 オンライン講演会  
13:00~14:30

Program

テーマ Think Quality and Life & Death

開会挨拶(13時00分)..... 坪内 清貴(金沢大学附属病院 薬剤部)

講演① (13時05分~13時25分)  
犀の角のようにただ独り歩め  
山田 圭輔 (金沢大学附属病院 緩和ケアセンター)

講演② (13時30分~13時50分)  
薬剤師「らしく」人が人を  
ケアすることについて考えてみた  
梅下 翔 (石川県済生会金沢病院 薬剤部)  
(緩和薬物療法認定薬剤師、臨床スピリチュアルケア師)

講演③ (13時55分~14時15分)  
宇宙と繋がったコルトレン体験  
中森 慶滋 (石川県薬剤師会 会長)

質疑応答など(14時15分~14時35分)..... 司会:坪内 清貴、清水真佐子(緩和ケアセンター 看護部長)  
閉会の挨拶..... 菅 幸生(金沢大学薬学系臨床薬学研究室)

参加申し込み方法  
申込み用URL: <https://forms.gle/v8yHjuLCQDd6ggRm6>  
申し込み期限: 令和5年11月15日(水)

(主催) 金沢大学附属病院緩和ケアセンター、(同)薬剤部 (共催) 石川県薬剤師会 QRコード

図

三者三様の切り口でしたが、老病死を生きること、それを支援することに関して、医学と薬学だけでなく、人間の心の動きにも目を向けた講演が続き、とても興味深いものでした（写真）。

山田は、生老病死のコミュニケーションに関して、医師、薬剤師および金大医学生の講演記録や実習レポート等を引用して話しましたので、それらを含めて以下に紹介致します。

### I. 山田の講演要旨

がんを抱える患者および家族に対しては、がん治療と併行してがん緩和医療による支援が必要になります。薬剤師はがん治療と緩和医療の両者に大きく関与しており、石川県内でも、がん専門薬剤師、外来

がん治療認定薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師が増えています。

緩和医療の臨床では、人生観（死生観、生と死）領域の支援も必要になりますが、治らない病気を抱え、死が近づいた患者の気持ちや感情を受け入れることは決して容易ではなく、薬剤師の気持ちも不安定になり、虚無感に捉われてしまうことも稀ではありません。

金大病院薬剤部の塩本先生が述べた様に、「これまで一緒に楽しくおしゃべりをしていた患者さんが衰弱していくと、訪室するのが申し訳なくなり、気が重くなりました。訪問しても何もしてあげられない、何の救いにもならないと、自分の無力さを感じました。」との気持ちは医療者だけでなく、家族や周囲の人にも共通する思いです。しかし、金大医学生①が遠藤周作を引用して述べた様に、日本では死について話すことを忌み嫌うため、死期が近づいた大切な家族ともその話が出来ず、お互いが死を受け入れられないままに最期を迎えてしまうだけではよろしくありません。

我々医療者は、死を避けることができないものとして受け入れ、患者や家族を含めた周囲の人達（医療者を含めて）と言葉に出して思いを分かち合えるよう、老病死を生きる孤独を少しでも和らげられるよう関わる必要があります。医学生②が述べている様に、死に近づく人々の様々な感情と向き合い、彼ら（家族含めて）に寄り添い対話していくためには、死に向かう人々を普遍的に理解するためのツールを多く身につけ、様々な思想に触れて自分の考えを深めておくことが重要です。

これらを幅広く社会の中に位置づけようとする活動がコンパッション都市です。超

高齢化および多死社会を迎えている現代では、健康都市だけでは不十分で、社会全体が死に関わるケアに取り組んでいかなければなりません。令和5年6月に開催した第46回金沢がん哲学外来オンライン講演会（石川県薬剤師会後援）において、笹良剛史先生がコンパッションに関して話してくれました。生老病死の現場で様々な価値観の対立や葛藤の前に立つ時には、勇気、冷静、知恵、ネガティブケイパビリティが必要で、その基にあるのがコンパッションです。コンパッションは苦しみを取り除くことではなく、苦しみと共にあり続ける能力を養い育むことです。コンパッション・コミュニティに向けて、犀の角のように一歩一歩進んでいきたいとの笹良先生の言葉に感銘を受け、今回の講演のタイトルに組み入れさせてもらいました。

本講演会は、2024年11月の薬剤師学術大会金沢（第64回北陸信越薬剤師大会、第57回北陸信越薬剤師学術大会：中森慶滋大会長）でのシンポジウム「死をPOSITIVEに考える」のイベントとして開催しました。シンポジウムでは、老病死を生きることと支援することに関しての1) コミュニケーション、2) Quality、3) 教育と連携と普及（コンパッション都市を目指して）をテーマに、薬剤師、看護師、医師（精神腫瘍科医等）および臨床宗教師をシンポジストに招いて、意見交換を行うことを計画しています。

## II. 引用した講演記録や実習レポート

### 1) 緩和ケアチームに参加して気づいたこと

金大病院薬剤部 塩本佑季子  
私は病棟担当薬剤師として、終末期をむかえる多くの患者さんと出会いました。こ

れまで一緒に楽しくおしゃべりをしていた患者さんが衰弱していくと、訪室するのが申し訳なくなり、気が重くなりました。訪問しても何もしてあげられない、何の救いにもならないと、自分の無力さを感じました。そのような悩みを抱きながら、2010年頃より緩和ケアチームの回診に参加させてもらい、緩和医療に関わるようになりました。

緩和ケアチームのスタッフは、「人は孤独で悲惨な存在だが、涙を拭いながらそれらを昇華し、笑いとユーモアを創造することができる。その力を発揮するためには、それらを理解して支援してくれる他者や言葉が必要である」との考え方を共有しており、その言葉通りを粘り強く実践し、患者さんや家族を支援していました。振り返ってみると、緩和ケアチームスタッフは、患者さんや家族に対してはもちろんのこと、私を含めた医療スタッフに対しても上記の考え方で接してくれるので、私も救われていたのだと分かりました。

## 2) 死について考える（遠藤周作、光文社文庫）

金沢大学医学類5年①

私は身近な人の死を経験したことはありません。フィクションでも誰かが亡くなると、とても悲しく寂しい気持ちになります。私の死に対する印象は、辛く、悲しく、避けたいという暗いものでした。自分が医師になった時、患者さんが安らかに死を迎えられるよう、遺族の心のケアなどの支援を出来るだろうか不安に思っていました。

本作品は、遠藤自身が闘病生活中に感じた死に対する考えなどが綴られており、興味深く思ったのは、デス・エデュケーショ

ンとグリーフ・エデュケーションについてです。

日本では死について話すことを忌み嫌うため、死期が近づいた大切な家族ともその話が出来ず、お互いが死を受け入れられないままに最期を迎えてしまうことがあります。残された人は、深い悲しみに陥ってしまい、心身ともに崩れてしまうこともあるようです。遠藤は、死を避けるよう気を遣いすぎると、かえって患者の気が張り詰めて疲弊してしまうと述べています。私は、死を避けることができないものとして受け入れることが、安らかな死を迎えるための第一歩だと思いました。他愛もない話をすると同じように、言葉に出して思いを分かち合っていきたいです。

## 3) 憾み（うらみ）滝廉太郎作曲

金沢大学医学類5年②

滝廉太郎は23年の短い生涯の中で数多くの曲を残したが、歌詞のつかないものが2曲あり、その1つが遺作となった「憾み（うらみ）」である。暗く悲しいだけでなく、ふと垣間見える諦めにも似た優しさ、やるせなさ、怒り、生きようとする者の強さ、まさに言葉にできない複雑な感情が読み取れる。私はここに、美談ではなく、死の淵を歩く者のリアルを見た。彼は死の淵にあっても作曲を続けた。到底受容などできない複雑な思いを抱えながら、生き続けたのである。

私達は医療者として、この途方もない感情と向き合っていかなければならない。できることは彼ら一人一人に寄り添い、対話していくことだけだ。そのためには、矛盾するようではあるが、死に向かう人々を普遍的に理解するためのツールをできるだけ多く

身につけること、最期をより良いものにする手法を一つでも多く知っておくこと、そして様々な思想に触れて自分の考えを深めておくことが重要だ。

一つ一つが私達の中の引き出しとなり、近い将来、患者さんと向き合う際の糧となるだろう。「治すこと時々、和らげることしばしば、慰めることいつも」の概念は全ての医療者の共通の引き出しであり、私の大きな引き出しが「憾み」なのである。

#### 4) コンパッションと瞑想的対話

豊見城中央病院全人的痛みセンター  
麻酔科 笹良 剛史

私たちが生老病死の苦しみを取り除こうとすればするほど、苦しみは忍び寄ってきます。解決不能に見える事態に出会った時、避けられない命の終焉の悲しみや憤り、価値観の対立や葛藤の前に立つ時、私たちはどうすればよいのでしょうか。米国の神学者ラインホルト・ニーバーは「神よ、変えられるものを変える勇気を、変え

られないものを受け入れる冷静さを、そして両者を識別する知恵を与えたまえ」と述べました。英国の詩人キーツは、ネガティブケイパビリティ（分からないものを分からないまま、宙ぶらりんにして耐え抜く能力）が大事であると述べています。

この勇気、冷静、知恵やネガティブケイパビリティの基にあるのがコンパッションです。コンパッションは苦しみを取り除くことではなく、苦しみと共にあり続ける能力を養い育むことです。

私たちの世界の最大の問題は、コロナ以前から、孤独でした。コロナとデジタル化社会でさらに深刻となった不確実な孤立の中で、心の貧困や疲労による虐待、いじめ、自死が増加しています。また、戦争による取り返しのつかない苦しみ連鎖が生じています。私たちが必要とするのは、共感・慈悲に基づく支え合いと対話です。Compassionate Communityに向けて、犀の角のように一步一步進んでいきたい。そう願って止みません。

## 地域の子どもたちに、薬(薬局)について学んでもらった!

むさしまち薬局 西田 裕子

令和5年8月3日、むさしまち薬局でこどもお薬教室を開催しました。

こどもお薬教室とは、地域の子ども達を対象に、薬の大切さや薬剤師の仕事について学んでもらうイベントです。

てまりグループの他店舗ではすでに恒例となっているこのイベントですが、むさしまち薬局では初めての開催でした。

地域に住む小学生高学年を対象に、張り



紙やInstagramを用いて募集し、小学5年生5名、小学6年生1名計6名の子も達が参加しました。内履きに変え、子ども用の白衣を着用して準備完了です。

まずは紙芝居で薬剤師の仕事や、薬をしっかり服用することの重要性を説明しました。処方箋に書いてあるお薬の種類の説明や、薬剤師は患者の年齢や体重を考慮して薬の量を判断していること、薬の分量の計算を間違えると薬の効き目が変わってしまうこと、薬剤師が処方箋に誤りがないか確認していること等を伝えると、薬剤師の仕事の大変さに驚いた様子でした。ミニクイズもあり、子ども達も飽きずに楽しみながら話を聞いてくれました。

分包機を使い、薬に見立てたお菓子を1包ずつに分包。水剤の代わりにジュースを測ったり、軟膏の代わりにシュガークリームを計量して軟膏ツボにつめる体験をしました。

分包したものに本人の名前と用法を印字し、セットしたお菓子が1包ずつ袋にきちんと入って出てくるのを見た子ども達は「すごい！」と興味津々。

模擬処方箋をもとに薬の分量を間違えないよう一所懸命に計算し、自分で薬袋に名前を書き、袋につめてお薬の出来上がり！

最後は一人ひとりに終了証を渡し、自分で作ったお薬を持って記念撮影。みんな達

成感のある良い笑顔を見せられました。「楽しかった」「またやりたい」等嬉しい感想も聞け、大好評でした。



初めての開催だったこともあり不安な点や準備の大変さはありましたが、子ども達が一所懸命に体験をして喜んでいる姿を見て、開催して良かったと思いました。また、子ども達の疑問に思ったことはなんでも質問してくれる姿勢に感銘を受け、教える側としても学ぶことばかりの1日となりました。

薬剤師の仕事の意義ややりがいを感じてもらい、薬を正しく服用することの重要性を理解してもらおう大変有意義なイベントを行うことができたと感じています。今回のように、薬局が地域の皆様の教育とふれあいの場になり、子どもたちが気軽に集まれる場になることが地域貢献にも繋がっていくことを期待し、積極的にイベントを開催していきたいと思っています。

## ガザ

なかもり けいじ

イスラエルとハマスの対立は長く続き泥沼化しようとしている。

イスラエルのネタニヤフ首相は11月28日、同国の軍事作戦について、パレスチナ

自治区ガザ地区が「イスラエルの脅威でなくなる」まで継続すると表明した。

ネタニヤフ氏は軍の情報拠点を訪問した際、「我々はこれらの任務を完遂する決意がある。すべての人質を解放し、地上と地下のテロ組織を排除する。そして当然だが、ガザが以前の状態に戻らないように、つまり、イスラエル国家への脅威にならないようにする必要がある」と述べた。

(CNN参考)

\*\*\*\*\*

今回のガザ戦争のイスラエルの目標は、ガザ市民を全員エジプトに追い出すことだ。ここまでの1か月半の戦争で、イスラエルはガザ北部の市街地を完全に破壊して住めないようにした。北部の市民の大半が南部に避難し、南部は過密になって住環境がとても悪い。

イスラエルは、外部からガザへの物資供給を妨害し、ガザ南部は水や食料や燃料などが不足している。この状態が長引くほどガザ市民の生活が悪化し、パレスチナの大義を超えた現実的な救済が必要になる。

(略)

エジプト政府は、ガザ市民がエジプトに来ることを昔から強く拒否してきた。だが、このままガザ市民をガザに押し込め続けていると、飢餓など人道危機がひどくなる。あと1～2か月もしたら、国際社会やアラブ諸国がイスラエルを非難しつつも、人道的な理由からガザ市民をガザから出し、エジプトのシナイ半島に難民キャンプを作って移住させることが必要になる。

イスラエルは、その時までガザを攻撃し続ける。イスラエル国防相は、4日間の停戦が終わったら攻撃を再開し、少なくとも2か月は続けると言っている。最短で2か

月後に、世界からの道義的な加圧により、エジプト政府がラファ検問所を開けてガザ市民をシナイ半島に受け入れざるを得なくなるとイスラエルは予測しているのだろう。

「ずっと続くガザ戦争」

2023年11月25日 田中 宇

<https://tanakanews.com/231125gaza.htm>

\*\*\*\*\*

1987年のこと。僕は第一次インティファダ（アラブ人の一斉蜂起）が起こるほんの少し前だがアラブ諸国の中で唯一イスラエルと国交があるエジプトから陸路入国した。前夜にタクシーの運転手に約束した次の日の明け方、約束通り軍隊が市内を監視している中タクシーが迎えに来てくれイスラエル行きのバスターミナルまで送ってくれた。タクシーの運転手は「ケイジは私の友達」などとアラブらしい愛想のよさでタクシーから降りた僕を見送ってくれた。

イスラエルのエルサレムにはキリスト教の聖地「聖墳墓教会」イスラム教の聖地「岩野ドーム」ユダヤ郷里の聖地「嘆きの壁」がある。どれも世界最大の聖地である。僕はそれがこの世に現実存在することを自分の目で見なかったのだ。

バルフォア宣言（1917年）ではイスラエル全域（ヨルダン川の東岸と西岸）をユ





ユダヤ人国家にすることを英国から認められたものの、英国は、イスラエルが中東の大国になり英国の脅威になることを恐れ、ヨルダン川東岸をハーシム家に与えてヨルダンを建国させ（1923年）、さらに西岸の半分もパレスチナ国家にする国連分割案まで決めて（1947年）、イスラエルに与える領土を4分の1にしてしまった。そのため思惑の違いからやがて中東戦争が起こりこの地は極めて不安定な状況に置かれユダヤ人とパレスチナ人との間で火種を抱えることになった。

バスには様々な世界からエルサレムを目指しているバックパッカーの若者たちそしてユダヤ人たちが乗っていた。バスはスエズ運河に架かる橋を越えた。そこで我々は列をついて次から次からやってくる巨大なタンカーやコンテナ船が悠然と運河を航行しているのを眺めていた。放置された戦車が砂漠に残っているまだ中東戦争の名残がある中、バスはシナイ半島を超えイスラエルに向かっていった。ラファで入国手続きを

行った。入国者はみなセキュリティチェックと手荷物の検査をひとりひとり相当な時間をかけて行われ、国境を越えたときにはげっそりした顔になっていた。バスのガイドはエジプト人のわかりやすい英語から白人のネイティブの英語となり、聞き取るのが難しい。車内の音楽はアラブ音楽からスザンヌ・ヴェガの「LUCA」が流れてきたのが印象的だった。

エルサレムにあるイスラム教の聖地「岩



のドーム」。このドームには次のような言い伝えがある。ムハンマドは大天使ジブリールに伴われエルサレムの神殿上の岩から天馬ブラークに乗って昇天し、神アッラーフの御前に至った。この伝承は、ムハンマドの死後から早い時期にはすでにイスラム教徒の間では事実とみなされており、神殿の丘におけるムハンマドが昇天したとされる場所にはウマイヤ朝の時代に岩のドームが築かれた。（参考Wikipedia）

キリストもエルサレムの城郭の中から昇天した。キリストの十字架が立てられたというゴルゴダの丘は聖墳墓協会の入り口にあった。

僕は敬虔なユダヤ人が居住しているとい

うメアシアリム地区を通り越して、気がつく  
とパレスチナ人が住むアラブ人地区に迷  
い込んでいた。一人の少年が僕にポスト  
カードの束をみせて買わないかといった。  
リュックの荷物を少しでも増やしたくない  
のと、お金をなるべく節約していたのでお  
土産らしいものはエジプトのパピルス以外  
ほとんど買っていなかった。当然その時も  
いらないと言ったのだが少年はしつこかつ  
た。「どこから来た」と聞くので日本だ  
という。「日本はいい国だね、トヨタやホン  
ダを作っているから」といい、やたら人  
懐っこい。

少年は買わないかと再びポストカードの  
束の写真を僕に見せた。イスラエルの名所  
旧跡の写真だ。しかし膨大な数で100枚以  
上あったらどうか。値段を聞くと買う意思  
があるとみなされるのでなかなか聞かない  
のだが根負けした僕はいくらだと聞いた。  
少年は1シェケルという。今は1シェケル  
37円くらいだが、そのとき150円ぐら  
いだったと思う。それでもこれはとても安  
い。その時の感覚では10~20シェケルと  
いわれてもおかしくない相場であった。も  
う一度聞いてみる少年は1シェケルで間違  
いないという。僕は買うことにした。ポ  
ストカードを眺めるとちょっと前の古い写  
真という印象、そこにはイスラエルの様  
々な観光地が写っていた。

タイのバンコクの一泊300円ほどの扇風  
機がカタカタと音を立てて回っている安  
宿で僕はそのポストカードの束を手に取り  
再び眺めていた。その中に人が写って  
いる写真が何枚かあった。その時多く  
の写真はすべてある視点からとられて  
いることに気づいた。ユダヤ人が一人  
も写っていないのである。すべてパレ  
スチナ人であり遺跡の解説もパレスチ  
ナに関するものであった。古き良き時  
代の牧歌的なパレスチナ人の生活が描  
かれていた。その時膨大な数の写真が  
1シェケルであったことの意味が分か  
った。少年はこのことを世界に広めて  
ほしかったのだ。僕はその時涙が頬を  
流れるのを感じた。

それが僕とパレスチナ人との思い出だ。

目を背け続けていた世界はこの状況を  
正義をもとに解決しなければならないの  
だろうが、おそらくイスラエルはま  
すます強くなり、パレスチナ人は  
ますます立場が弱くなりガザは消滅  
していくのだろう。現実とは違  
うところに動いていくのだ。



## カタリン・カリコ氏

やまだのかかし

今年の大きなニュースはカタリン・カリ  
コ氏がノーベル賞の生理学・医学賞を受賞

したことだろう。事前の予想が的中した順  
当な受賞だ。



冷戦最中の1955年のハンガリー人民共和国ソルノク県ソルノク市で生まれた彼女は、ソルノクよりキシウーイサーツラーシュ市で育った。父親は精肉業で、母親は事務員だったそうだ。

ハンガリーで研究していた彼女はハンガリーの経済の疲弊により30歳の時失業してしまった。職を探していた彼女はアメリカのテンプル大学で「博士研究員」枠としての受け入れが認められた。1985年にはポストドクター研究員として、招聘されることが決まった。その後ペンシルベニア大学に職を移したものの研究成果が上がらない彼女に、ペンシルベニア大学の上司は、退職か降格かと選択を迫った。彼らはカリコが「成果を出すことができず、社会的意義のある研究とも思えない」「教員に適しない」との理由で「研究室のリーダー職」から、mRNA研究を諦めることになる辞職か、降格と減給を受け入れた上に研究を続けるかの選択を迫られた。彼女は後者を選び、終身雇用資格の教職ポストから解職というテニュアトラックから降格させられ、大幅減給させられた。

(参考：Wikipediaより)

彼女の今回のワクチンの成功のポイントは次の点にある。

\*\*\*\*\*

2008年には、さらに研究を重ね、

mRNAのウリジンを「シュードウリジン」という特定の化学修飾をつけたものに発展させた。このシュードウリジンを施したmRNAを使うと、炎症が抑えられるばかりか、タンパク質の設計図であるmRNAがとんとん細胞の中に入っていく、大量のタンパク質が作られることがわかったのです。

「世界を救うmRNAワクチンの開発者  
カタリン・カリコ」 増田ユリヤ著

\*\*\*\*\*

このシュードウリジンは食品メーカーである千葉県にあるヤマサ醤油が製造しているらしい。

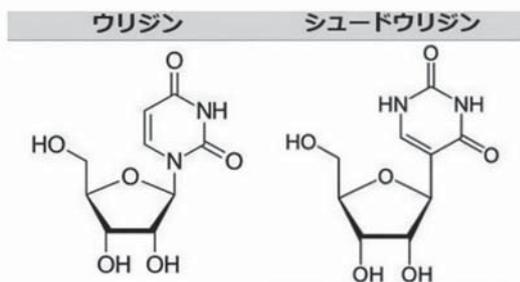
\*\*\*\*\*

mRNA合成用原料のシュードウリジン

ヤマサ醤油の医薬・化成品事業部では、核酸系うま味調味料の製造開始を発端に、核酸化合物に特化して60年以上事業展開してきています。1970年代からは医薬品原薬の製造販売も開始しています。以前は研究用試薬として数多くの核酸化合物を合成し販売していましたが、その一つとしてシュードウリジンを1980年代から販売しております。

古くから製品として持っていたこともあり、今話題のmRNA（メッセンジャーRNA）の合成用素材として以前からご使用いただいております。体内に存在する通





常のmRNAは配列をなしている4つの核酸化合物の一つがウリジンであるのに対して、治療薬やワクチンとして開発されているmRNAはウリジンのかわりに修飾核酸(シュードウリジンやその他の誘導体)が使われています。尚、シュードウリジンは

RNAの一つであるtRNA(トランスファーRNA)などの構成要素としてもともと体内にも存在します。

ヤマサ醤油ホームページより

<https://www.yamasa-biochem.com/business/20211012.html>

\*\*\*\*\*

不遇な研究時代を過ごしたものの、世界的な結果を残したカリコ氏に喝采を送ろう。

## 僕を破壊した美しい海側環状道路のコース

石川県薬剤師会 中 森 慶 滋

10月29日金沢マラソンに出場した。期待はしていなかったものの相変わらずの惨敗。記録は5時間46分であった。それでも今度こそ最後まで走り切りたいとの強い希望を持っていたので、マラソンの当選が決まった時からジムで、普段より長く走ることにした。とはいえランニングマシンで。これがどれだけ実践につながるかは不明なものの一つの目安として一か月に走る距離を稼ごうと思ったのである。

マラソンには奇跡は絶対起きないという言葉を片町のバーのマスターに聞いた時から気合が入ったかのように走りだした。彼は金沢マラソンを3時間半で走る神レベルのランナー、今回も出場しこれまでの自分の記録を超えようとしているので僕は先生と呼んでいる。先生とは偶然スポーツ店で出会いナイキのペガサス40というシューズを選んでもらった。

普段は月4回程度で一回15kmを走っているので大体50~60km/月である。7月から走る距離を長くすることにした。

7月93.32km 7回の合計

8月96.04km 6回の合計

9月163.4km 11回の合計

10月172.34km 8回の合計(3週間)

10月に最長で走ったのは27.63km(3時間)。この時は30km越えを走りきりたかったのだがどうしてもできなかった。10月19日は15.53kmでマシンを降り絶不調に多少落ち込み、気を取り直して直前1週間前で30km越えを狙ったのだが24.11kmで限界が来てしまった。だがこれは精神的な壁であり足はまだ走れる状態だと思っていた。

10月27日金沢マラソンの参加受け付けに行った。石川県立音楽堂の地下にある交流ホールに設置されたランナー受付場の段

取りはとても素晴らしく、流れに乗るだけであっけなく終わってしまった。本人の確認をしてから引換券とプログラムや交換ゼッケンの交付を行った後Tシャツが渡された。今回のTシャツはシンプルなデザインとなっている。受付をしているランナーたちはとても楽しそうで出場する喜びと過酷なマラソンに出るための準備をしてきた自信にあふれているのがわかる。家に帰りゼッケンをもらった黄色いTシャツに取り付ける。気持ちは高ぶらず平静だ、後半の苦しみに耐えられないかもしれないという不安もあるからなのだろう。しかし気持ちを切り替えマラソンを楽しんでこようかなどと思うのだが、些か心もとない。

前日は19時ごろ布団に入った。眠れないかもしれないと思ったのだが、しばらくするとあっさり眠りに入っていた。雨の音で目が覚める。トイレに行き時計を見ると3時半過ぎ。もう8時間も眠れていると思いき安心する。

しばらく布団の中でいろいろ考える。フルマラソンはこれで5回目なので足が痙攣した時のつらさを何度も経験している。そのことを思い出していた。4時50分に目覚ましのアラームが鳴った。1階に降りていきテレビをつける。

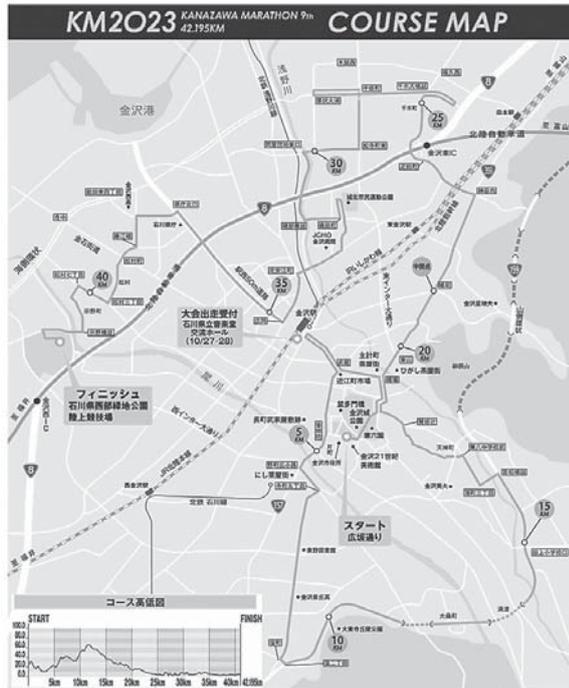
ワールドカップラグビーの決勝戦がLIVEで放送していた。世界最高レベルのラグビーは、すでにトライをとる戦術からゴール中心の戦術に変わっていた。拮抗しているどちらのチームも最大限の力を出し合っていることがよくわかる試合だ。その中でスクラムハーフの小柄なデクラーク選手(南アフリカ)の活躍が目についた。それを見て彼から元気をもらった気がした。

やがて夜が明けてきた。ウエアに着替えたときなぜか悲壮感が漂う、本来マラソン大会とは最後まで走りきる人のためにあるものなのだが市民マラソンと枠を広げたことで僕のようなレベルのランナーも参加できるようになった。そのため競技としての大会からイベントとしての性格が強くなり42.195kmを走ることに意味があるレベルの人も参加させてもらえることになった。このことに素直に感謝しようと思う。しかし僕は大会に敬意を払うため172.3kmを3週間で走ったのではないかと、そんな複雑な感情が僕を取り巻きそれに翻弄されていた。



家内に片町のスクランブル交差点まで送ってもらう。車を降りて周りを見渡すと多くのランナーたちが配布された大きなナイロンリュックを担いで目的地である四高記念公園まで歩いていた。会場の入口でゼッケンを見せてくださいと言われ前部のチャックを開いたとき、ランナーとして参加するうれしさを感じる。雨はすっかり上がり青空が顔をのぞかせている。トイレに行き薄手のヤッケを脱ぎトラックに荷物を預けた。

薬剤師の小林君が「先生も出るんですか」と声をかけてきた。トイレに行き気持ちを落ち着かせる。それから僕は道路に指定された整列エリアに入ってしまった。開会式が始まったかと思うとその2分後にあっけなく号砲が鳴り第一ウエーブのランナー



たちが走り出した。僕は第二ウエーブなので15分後だ。ゲスト出演の猫ひろしが「にゃー」と言い、小島よしおが「苦くたって、そんなの関係ねー」と言っているのが聞こえる。

「第二ウエーブのスタート10秒前です」

極めて平静でいる自分に気がつく。ピストルの音が聞こえた。スタートだ。台の上に乗った金沢市長さんが手を振っているの見える。市議会議員の宇冨君がいるのもわかる。彼は僕を見つけ手を振ってくれている。

左へ大きく曲がり石川門に差し掛かる。



順調な出だしだ。金沢友禅大使の女性たちが着物を着て手を振ってくれている。時間は5分台を指していたのでスピードを緩め6分台まで落とした。尾張町の石黒薬局前に石黒さんがいたので「石黒さ～ん」と声をかける。鼓門まで北上し折り返し片町にいた親戚や家内に手を振って出発の意気込みを見せる。犀川大橋に「割烹たけし」の大將が手を振っている、僕も振り返すと気が付いてくれた。

犀川大橋からしばらく上り坂が続く、前を見ないように足元だけを見ながら坂を感じないように走った。初めてのエイドで水を口に含んだものの体調を考え飲まないですぐに吐き出した。それから高尾まで順調に走る。

左折をし山側環状道路に入ったところから急激な登り坂が待っている。野田墓地にいる母にお願いする「ちょっと背中を押して坂道を助けてくれる？」母親はしょうがないなという感じで僕を押し上げてくれた。「でも海側環状道路は大変だから手伝えないよ」と言われたような気がした。

最高地点まで走りあがったときトンネルが見えてきた。トンネルからは下り坂なのでとても楽だ、一気に二つのトンネルを走り抜ける。まだまだいけそうな気がする。

172.34kmランで上半身が安定して体がつらくなっているのだと思う。そのまま賢坂辻から橋場町そして浅野川町を抜けハーフ地点を越える。

それからしばらく走ると急に体が重く感じるようになってきた。このままだと鉄道と高速道路の二つの立体交差を越えられないのではと思う。スピードが

どんどん落ちていくのがわかる。太ももの付け根が痛く感じる、芍薬甘草湯を飲む。鉄道を横切る下りの立体交差の入り口で「中森先生」と沿道から声をかけられた。振り返ると石川県学校薬剤師会理事の石浦先生であった。

躰のつらさに耐えながら走り続けた。今年から設定された海側環状道路を走るコースに入った。客観的に見てランナーには過酷だが美しいコースだと思う。本線に入る登りの誘導路や交差点に降りる立体交差する下りのあまりのアップダウンに足が痙攣しだした。歩けなくなったので立ち止まり足をさするとふくらはぎ全体がさらに痙攣する。ゼッケンを止める安全ピンを一つはずし足にさし続ける。すると針の刺激で痙攣がなんとか収まってきた。しかし足を動かそうとするとすぐに痙攣がやってくる。それでもゆるゆると動き出そうとする。何とかいけそうな気がしてきた。そして僕はゆっくりと歩き出した。

それから「僕の」マラソンが始まった。様々な思いが頭をめぐる。生きてきたこと、うれしかったこと、悲しかったこと。道路わきから応援の声が聞こえる。「もう少し頑張らなければ」と思う。早歩きが何とかできるようになる。しかし痙攣した足を引き摺っての早歩きはとてつらい。走ろうと思うのだがその瞬間に足がつりだすのがわかる。しかし徐々に速度を上げていく。これで4回目の金沢マラソンなのでコースの概略は頭の中に入っている。そのため現在の自分の位置と体調と経過時間の感覚は分かっているため今の自分がいる状況を客観的に理解することができている。早く早くと自分に言い聞かせる。

終盤ゴール近くの犀川にかかる橋を登ろ

うとしたときに大粒の雨に降られる。とても気持ちがいい、地球から祝福されているような気がした、それは今日のこのマラソンだけではなく僕の人生への生きている証の賛歌なのだと感じた。

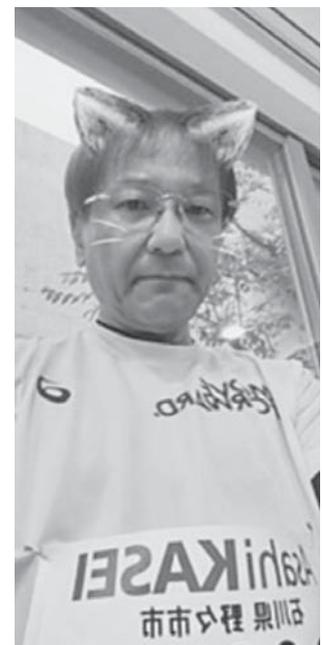
日常生活でこのような自分の体力の限界に自ら挑むことなんてなかなかないような気がする。それができていることに感謝しようと思う。

ゴール直前に村山市長に挨拶し、ほくりくアイドル部の娘たちとハイタッチする。そしてゴール。途中、実力もないのに無謀なことをしている自分にあきれていた。もうこれで最後にしようと思ったのだ。そうだ何度思っただろうか。何度も何度もそう思っただのだ。そして僕はゴールだけをただひたすら純粋に目指していた。

しかしゴールしたとき若干の達成感と心地よい疲労感から僕の世界と肉体に与えてくれたこの地球の重力を感じ、苦しみの本質を知った。あらゆるものは重力から逃れられない。ところがそんな僕を救済したのは超自然的な力であった。自我を消滅させ自分という存在を地球へと明け渡し隷属する、そのとき僕の魂は神から恩寵を受けた気がした。

こんなことを感じたのは今回が初めてである。

そして来年当選したら出場し1分でも早くゴールを目指してみようと思ったのである。



## 連盟だより

### 学んだことを地域に



「薬学教育6年制の実現」と「熊本地震の災害支援」。私が政治を志したきっかけと

なった経験です。

薬学教育6年制に関しては、参議院議員であった父の公設秘書をしていた頃、国会および関係府省での議論が本格化しました。

検討当初は反対意見もありましたが、薬剤師会、大学関係者、関係府省そして国会議員の理解と努力によって、衆参両院ともに関係法案は全会一致での可決成立となりました。

このとき、私は「薬剤師のことを薬剤師の言葉で国政の中にもっと届けていけるようになりたい」と思いました。

そして「時代の変化とともに法はつくられ、必要によって法は改正できる」ことを学びました。

熊本地震に関しては、2016年の発生当時、人命を守るには被災してから72時間が救助の際の目安をされている中、緊迫した現場の医療支援に薬剤師会職員として関わりました。

その際、支援策と全ての関係者間の連携の大切さを痛感しました。

被災後の避難所での医療の継続性、衛生

参議院議員・薬剤師 本田 あきこ

面のケア、さらには災害関連死を防ぐための寄り添いや心の支援などの必要性を含め、災害支援に関わった当時の経験を伝え続けています。

私は9月に厚生労働大臣政務官兼内閣府大臣政務官の任を終え、党務（国会運営）で役割を果たそうと思っておりましたが、急遽10月26日に文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官を拝命いたしました。

急な人事ではありますが、文部科学分野も復興分野も、私が政治を志したきっかけとなった分野です。

私を含め文部科学大臣政務官は2名、復興大臣政務官は4名で対応しますので、必ずしも全てを自らが担うわけではありませんが、地域の皆様の命と暮らしを守り、経済を支え、誰ひとり取り残すことなく、日本の未来を切り拓いていけるように取り組んでまいります。

これからもよろしくお願い申し上げます。

## 自由民主党青年局海外研修（台湾・パラオ）



皆様、こんにちは。  
参議院議員の神谷政幸  
です。

令和5年8月20日  
から27日まで令和5年自由民主党青年局  
海外研修（台湾・パラオ）に参加しまし  
た。

青年局は45歳以下の国会議員や全国の  
地方議員、自営業者、会社員、学生などの  
党員で構成されており、大きな役割のひと  
つとして、自民党において国交のない台湾  
との唯一の窓口となり、毎年日本・台湾間  
の相互訪問を行うなどの国際交流があげら  
れます。

近年、台湾は半導体産業が急成長を遂げ  
ました。

日本政府は半導体世界大手の台湾積体電  
路製造股分（正しくは人べんに分）有限公  
司（TSMC）を誘致し、国内最先端の半導  
体製造工場が熊本に建設されています。

半導体に加えて台湾はバイオスタート  
アップの台頭も目覚ましく、台湾のバイオ  
産業は著しく成長しています。

今回の訪問では、蔡英文総統との意見交  
換の場において質問が許され、私からバイ  
オ医薬品開発と臨床試験について質問し、  
総統から直接回答をいただくことができま  
した。

台湾の訪問を終えた後、パラオを訪問し  
ました。

参議院議員・薬剤師 神谷政幸

パラオは第一次世界大戦から第二次世界  
大戦の間、日本の委任統治下であり、日本  
の影響を受けた文化が多く残っている親日  
国です。台湾との外交関係を維持している  
国の一つでもあります。

現地では、第二次世界大戦中に行われた  
ペリリュー島の戦いで亡くなった日本軍の  
戦没者の慰霊を行い、厚生労働省の事業と  
して実施している遺骨収集の現状を視察し  
ました。

この戦いにおける日本軍の戦死者は  
10,022人、負傷者446人、生存者は34人  
とされています。戦死者の内2,200柱の遺  
骨は未収集であり、ペリリュー島以外のパ  
ラオ共和国内にあるとされている約5,000  
柱の遺骨も未収集とのことでした。遺族の  
高齢化も進んでいることから、一日も早い  
解決が求められています。

## 2024年も皆様の声を市政に届けて参ります



新年明けましておめでとうございます。皆様の温かいご支援のおかげで、2023年5月

2日より金沢市議会議員を務めさせていただいております。2024年を迎え、議会活動の概要を少しずつ把握してきたところでございます。新人議員として謙虚に、そして少しでも皆様のお力になれるよう懸命に努力して参ります。

金沢市議会の中で、医療の専門性を発揮し、市民の健康や福祉を守っていくことが、私の最大の使命であり、強みであると考えております。9月定例会議会では、今後の金沢市の健康政策において、未病や介護予防の一層の充実を訴えました。村山金沢市長からは、「薬剤師会や高等教育機関とも連携し、未病や介護予防に取り組んで参りたい。」と答弁をいただきました。薬局は市民の健康をサポートする身近で重要な拠点です。その中で薬剤師の職能をいかに発揮できるよう、来年度に向けた政策実現ができるように専心取り組んで参ります。議会での発言内容は、日頃皆様からいただいた多くのご意見をもとに考えております。今

金沢市議会議員 宇 彗 裕 基

後とも、皆様方からご意見、ご指導を頂戴できればと存じます。

本年も皆様のご健勝とご多幸をお祈りしております。何卒よろしくお願いいたします。

### 【うだひろきの議会解説】

政治家の活動内容や、議会の仕組みなど、裏側と共にレポートしていきます。

今回は「議会での質疑方法」について、ご紹介いたします。

金沢市議会の本議会では、市役所の執行部との質疑方法には大きく2種類あります。一括質問形式と、一問一答形式です。どちらも持ち時間は40分です。

- ・一括質問形式：議長の前に登壇し、議員や傍聴席側を見ながら質問する。執行部への質問は一括で実施し、降壇する。執行部側は首長から順番に登壇し、該当する質問へ回答していく。執行部の回答が



全て終了した時点で、持ち時間が余っていた場合は、2回まで再質問することができる。その場合、登壇する必要はなく、議席で立って質問をすることで、手元のマイクが集音してくれる。再質問は、回答に関連する疑義の場合のみ認められる。時間配分がしやすいのが利点。一方で、執行部の回答に対して追及することが難しい。また、傍聴者は、質問の

把握が難しい。

- ・一問一答形式：議員席の中央の席に移動し、執行部側を見ながら質問する。質問が終了する度に、中央の席に着座する。執行部側は回答者がその場で立って発言する。その後、議員の質問に戻る。課題を追及するには適しており、傍聴する側も分かりやすい。一方で、執行部側の回答に対するアドリブが求められる。

## 「全国若手薬剤師フォーラム2023」に参加して

しんたて薬局 北 一 晃

日本薬剤師連盟の主催で2023年10月8日(日)、9日(祝)両日にわたって千葉県船橋市にて全国若手薬剤師フォーラム2023が開催されました。コロナ禍を経て4年ぶりに47都道府県から1名ずつ若手薬剤師が集結致しました。今回は「仲間を増やすために何をすべきか」をテーマに、熱いディスカッションが行われました。県の規模に合わせて富山県、山形県、和歌山県、佐賀県の方とのディスカッショングループになりました。同じ地方都市という事もあ

り、抱えている問題は似ており、薬剤師不足などの人材の少なさ、仲間を集めるための問題点も共通しておりました。ただ、この2日間の熱い討論をすることで、地方においても仲間を増やすことはできると実感することができました。

本フォーラムのプログラムは、ディスカッション以外にも非常に充実した内容でした。1日目は、川田幹事長の開会挨拶で始まり、本田あきこ参議院議員の講演「国政報告」、澤勢瑞城長崎市議会議員の講



演2「組織力強化の大切さとその効果」の後、青森県薬剤師連盟、大阪府薬剤師連盟、和歌山県薬剤師連盟よりそれぞれ講演3「若手薬剤師フォーラムの開催実践発表」がなされました。2日目は、山本会長の開会挨拶に始まり、神谷まさゆき参議院議員よりご挨拶をいただきました。その後、1日目のスモールグループディスカッションIでまとめた内容が発表されました。続いて大澤副会長より講演4「本田あきこ中央後援会支援者名簿収集」が行われ、大原副幹事長の総評及び閉会挨拶で一度終了となりました。その後、国会議事堂に移り、各自国会見学が行われ、2日間に渡る全プログラムが終了となりました。国

会議事堂は、想像以上に巨大で荘厳な空間に感じました。興味があっても、なかなか東京観光のついでに見学することもないので貴重な体験となりました。人生に1度は見学することをお勧めしたいと思います。

県代表の拜命を受け、不安緊張を抱えながらの参加となりました。ただ、翌日には全国に仲間ができ、先生方、仲間から幅広いご意見を伺い、ディスカッションすることができたことで、とても有意義な時間を過ごすことができたと感じております。

今後は、これからの薬剤師と一緒に考えてくれる仲間を増やす環境作りを実践していきたいと考えております。



# Think QUALITY

## 薬剤師学術大会 金沢

2024年(令和6年)

# 11/2日 ▶▶ 4日 振休

石川県文教会館、金沢商工会議所会館


 大会長 中森 慶滋 (公益社団法人 石川県薬剤師会 会長)


### ■ 特別講演

「POSITIVE に生きる」

葦原 海氏

(モデル/パフォーマー)

16歳の時に、事故で両足を切断した葦原海さん、失ったもの得られたもの



### ■ Zoom World Session

世界の薬剤師と話そう

・薬剤師の未来  
・医療の先進 DX

### ■ 生成 AI が変える薬剤師の未来

座長 上村 直樹 (東京理科大学 専任教授)

データの収集、分析、そして解決策を得るとする生成 AI が薬剤師の業務に入りこんでくる。物から人へと業務をシフトしていく先には生成 AI が持ち受け我々の存在を脅かすのであろうか。しかしあらゆる技術は人間の利益に沿うものでなくてはならないはずだ。生成 AI を我々の業務に生かす可能性を考える。

生きてきてよかった  
病氣・長寿・ターミナルの  
クオリティを考える



### ■ 薬剤師の偏在問題を考える

地域医療の QUALITY を維持するために  
座長 榎 吉通 (石川県薬剤師会副会長)

### ■ 死を POSITIVE に考える

座長 山田 圭輔 (金沢大学附属病院緩和ケアセンター長)



両正を失った女の子

第 64 回北陸信越薬剤師大会・第 57 回北陸信越薬剤師学術大会

大会事務局 / 公益社団法人 石川県薬剤師会 〒920-0032 石川県金沢市広岡町イ 25 番地 10 TEL: 076-231-6634 メールアドレス: ken-yaku@plaza-woo.jp



## 原稿を募集しています。

- ◇「県薬レポート」では、この小冊子をより一層愛されるものにしたいと願って、読者の皆様から広く原稿を募集しています。
- ◇テーマや内容、体裁は自由です。評論、随筆、意見、提言、店頭体験談、趣味の話、詩、短歌、俳句、川柳、或いはマンガ、イラスト、カット、写真等々何でも結構です。ただしあまり長いものは御遠慮の程を……。
- ◇原稿はデータで石川県薬剤師会までメールでお送りください。

その他：採否は編集委員会におまかせください。

### 「県薬レポート」編集委員会

委員：綿谷 敏彦、藤原 秀範、橋本 昌子  
伊藤 昭一、野村 政明、塩谷 明美  
吉野 貴大、坂野由宇希

石川県薬剤師会ホームページの URL

<http://www.ishikawakenyaku.com/>

e メール・アドレス

[kenyaku@plaza-woo.jp](mailto:kenyaku@plaza-woo.jp)